
メタデータエディターページの操作

メタデータ（**所蔵**メタデータを除く）を操作するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録編集者
- 目録マネージャー
- 目録管理者

所蔵メタデータを操作するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 冊子目録オペレーター
- 冊子目録オペレーター限定
- 物理的目録オペレータ拡張 - 所蔵レコードを削除するために必要となります。
- 購入管理者
- 購入オペレーター
- リポジトリマネージャー

Note

これらの役職を持つユーザーは、[ユーザーの詳細]ページで役職に定義された範囲内でのみ**所蔵**メタデータを操作できます。[ユーザー役職の管理](#)を参照してください。

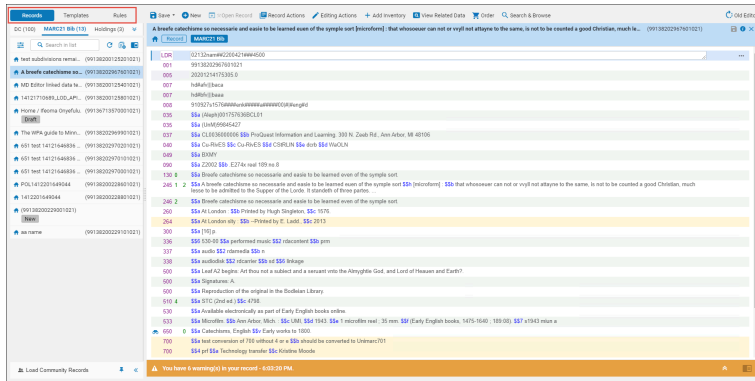
メタデータエディターの利便性の向上の詳細については、[利便性の向上](#)を参照してください。

メタデータエディターを使用すると、書誌メタデータの表示および編集ができます。また、メタデータエディターで**所蔵**および**権限**の表示、編集ができます。

このページには、メタデータエディターの操作に関する一般情報が含まれています。具体的な情報については、次を参照してください：

- 書誌および**所蔵**レコードを操作する場合- [レコードの操作](#)
- レコードテンプレートを使用する場合- [レコードテンプレートの操作](#)
- ルールを操作する場合- [ルールの操作](#)

メタデータエディターの概要については、[メタデータエディターの概要 \(5:25\)](#)を参照してください。



メタデータ エディタの操作領域

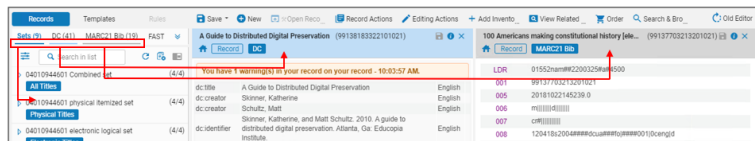
メタデータエディタを開く

メタデータエディタを開くには：

- Almaメインメニューからメタデータエディタを開きます（[リソース] > [目録] > [メタデータエディタ]を開く）。これにより、作業中のレコードとプッシュされたレコードを含むMDエディタが開きます（[プッシュされたレコード](#)を参照）。
- 検索結果の特定のタイトルの[レコードの編集]を選択します。これにより、選択したレコードがすでに開いている状態でMDエディタが開きます。



メタデータエディタの色分けとカウンター

MDエディタのタブは色分けされており、表示エンティティに関する追加情報を提供します。タブの色分けは、レコード、テンプレート、ルール の3つの機能領域で同じです。



[レコード]領域の[下線の色]タブ

タブの下線の色は、次のことを示しています。

色	説明
 ダークブルー	ナビゲーションペインに現在表示されているレコードは、このタブからのものです。
 ライトブルー	編集ペインで編集中のレコードとそのペインは現在フォーカスされています（編集ペインが分割モードの場合）。 水色のレコードがない場合は、編集中のレコード（ダークブルーのマーク）が、現在フォーカスされているレコードであり、ナ

色	説明
	ナビゲーションペインに表示されているタブに属しています。
グレー	編集ペインで編集中のレコードですが、そのペインは現在フォーカスされていません（編集ペインが分割モードの場合）。
白	編集ペインのこのタブの下に開いているレコードはなく、現在、ナビゲーションペインに表示するように選択されていません。

各タブのカウンターは、現在タブにあるレコードの数を示します。



Note

テンプレートエリアでは、カウンターはコミュニティゾーンレコードの数をカウントしません。カウンターは、[機関+ネットワークゾーン]テンプレートの合計を反映します。

各機能領域の下には、エンティティの異なるファミリーを表すタブが表示されます(たとえば、レコードの場合：セット、DC、MARC21、UMIMARCおよびその他のフォーマット、所蔵、典拠フォーマット)。特定のファミリーを開くには、そのタブを選択します。タブの色が青に変わり、そのアイテムが現在ナビゲーションペインに表示されていることを示します。他のファミリーに属するエンティティを表示するには

矢印リストからファミリーを選択します。

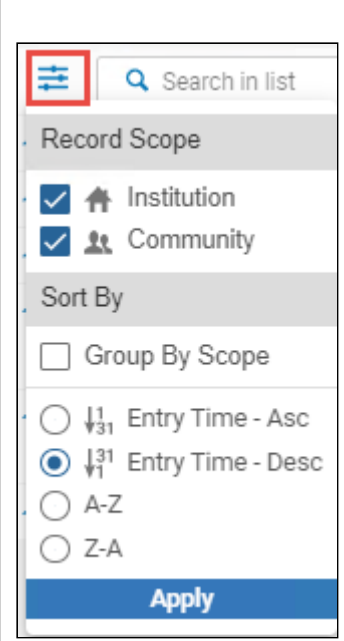
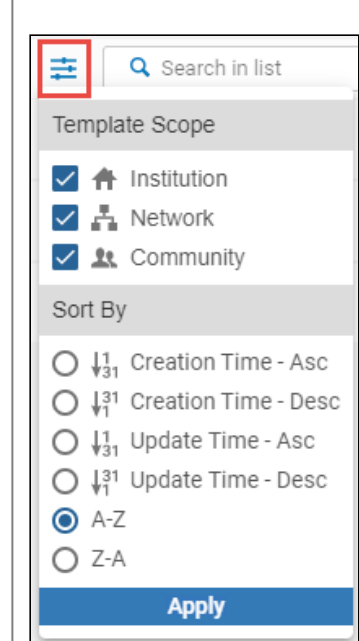
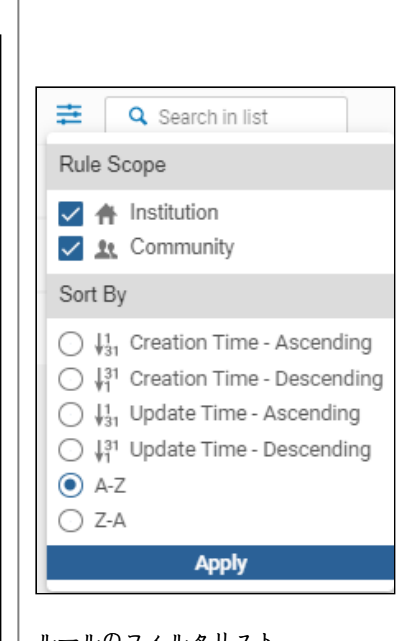
ナビゲーションペインでの検索とフィルター

ナビゲーションペインにエンティティの長いリストがある場合は、検索ボックスに検索文字を入力して一致するエンティティを探したり、フィルタリングオプションを使って作業したいエンティティを簡単に探したりすることができます。フィルターメニューを使用して、次の方法でエンティティを編成します：

- 機関ゾーンレコード、ネットワークゾーン(該当する場合)、コミュニティゾーン、またはこれらの任意の組み合わせを表示します。
注：範囲を除外すると、そのフォルダーはナビゲーションウィンドウに表示されなくなります。
- 以下に従ってレコードをリストに配置します。
 - スコープによるグループ化(レコードのみ)：機関ゾーン、ネットワークゾーン、またはコミュニティゾーン。
 - エントリまたは更新の時刻ごとに、昇順または降順で並べ替えます。なお、利用できる特定のオプションは、エンティティの種類によって異なります。
 - アルファベット順、昇順/降順。

デフォルトのレコードスコープが変更されると、フィルターメニューアイコンに緑色の点が適用されます：



 <p>レコードのフィルターリスト</p>	 <p>テンプレートのフィルターリスト</p>	 <p>ルールのフィルターリスト</p>
--	--	--

リストを更新する

複数のユーザーがドラフトレコードリストのレコードを同時に追加および削除している可能性があるため、作業しているレコードのリストを時々更新すると役立つ場合があります。これを行うと、別のユーザーによって割り当てられたレコードを表示したり、レコードのロックが期限切れになった場合に他のユーザーによって編集されているレコードを削除したりできます。（レコードのロックは、メタデータエディターでレコードが使用されなかった1時間後に期限切れになります。）

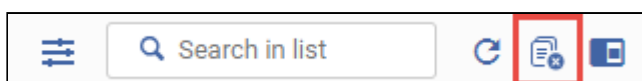
これは、**[リストの更新]** アイコンを使用して実行できます。



リストアイコンの更新を更新する

表示されたレコードを解除する

このオプションを使用して、リストに現在表示されているレコードのみを解除します。除外されたレコードは解除されません。



リスト表示レコード解除アイコン

表示されたレコードを解放するには：

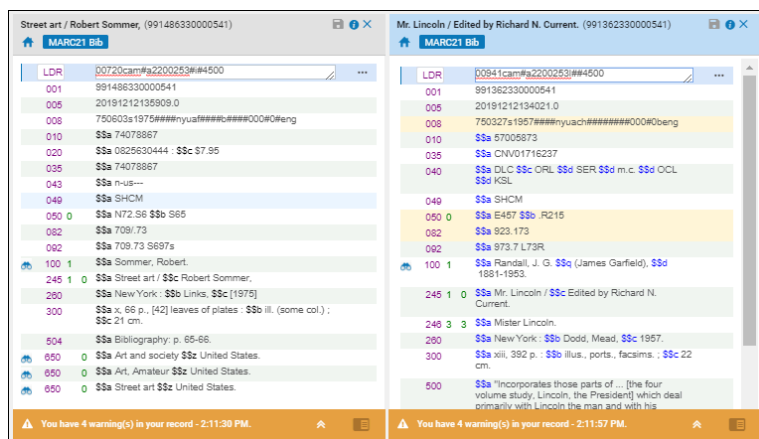
1. タブ上部のフィルターボックスで、目的のレコードを検索します。
検索に一致するレコードのセットが表示されます。これらは、セットのすべてのレコードではない場合があります。
2. 一致するレコードを表示するには、目的のセットの名前をダブルクリックしてセットを展開します。
3. リストを右クリックして、リストに表示されているレコードを解除します。
4. 表示される確認メッセージで、[はい]を選択します。表示されているすべてのレコードがリリースされます。表示されなかったレコードは解放されません。

エディタ分割モード

追加のレコードを表示したいときは、編集領域を分割モードで開くことができます。エディタ分割モードアイコンを使用して、編集領域を2つに分割します。両方の編集領域が同じ編集機能を提供します。



エディタ分割モードアイコン



分割画面編集領域

エンティティ情報

ナビゲーション画面の特定のエンティティにカーソルを合わせて、作成日と最新の修正日、およびこれらのレコードを作成および最終修正したユーザーの名前を確認します。

ナビゲーションペインを折りたたむ

メタデータ エディターのドラフトレコードペインを折りたたんで、レコードを編集するためのスペースを増やすことができます。これを行うには、開閉矢印を使用します。

ナビゲーションペインを展開すると、固定された状態で表示できます。この場合、[エディタ]ペインの横に表示されます。固定されていない場合は、[エディタ]ペインの上部に表示されます。固定されたビューは、両方を常に画面に表示したい場合に便利です。固定されていないビューは、[エディタ]ペインの拡大ビューを有効にするため、[ナビゲーション]ペインを時々開く場合にのみ使用できます。

Records Templates Rules Save New Record... Editing... Add In...

MARC21 Bib (1) UNIMARC Bib CNMARC Bib

Holdings DC

Search in list

Harry Potter and the Philoso... (9913809200121)

Harry Potter and the Philosopher's Stone (9913809200121)

Record 01 MARC21 Bib

LDR #####nam#a22#####u#4500

001 9913809200121

008 #####s2013###xx#####r#####000#0#eng#d

020 \$\$a 9781408855652

100 \$\$a Rowling, J.K.

245 \$\$a Harry Potter and the Philosopher's Stone

You have 3 warning(s) in your record - 11:13:48 AM.

Records Templates Rules Editing Actions

MARC21 Bib (1) UNIMARC Bib CNMARC Bib 9913809200121

Holdings DC

Search in list

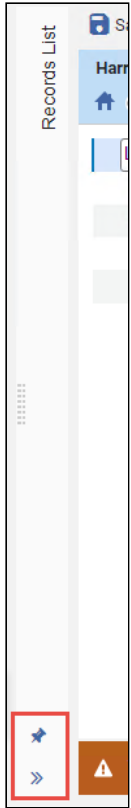
Harry Potter and the Philoso... (9913809200121)

9913809200121

#####000#0#eng#d

osopher's Stone

11:13:48 AM.



開いて固定されたナビゲーションペイン
ナビゲーションペイン

開いて固定されていないナビゲーションペイン

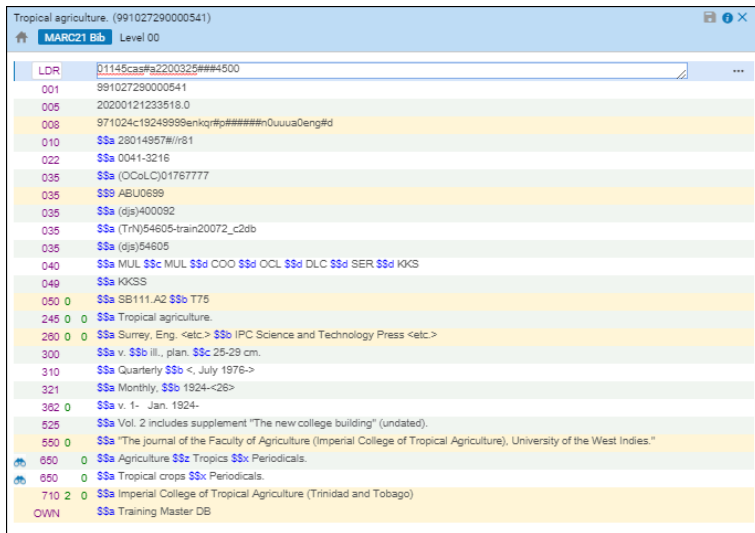
閉じたナビゲーションペイン

メタデータエディターの編集ペイン

Note

メタデータエディターのナビゲーションペインは、レコード、テンプレート、およびルール領域で同じように機能します。簡潔にするために、情報がこれら3つの領域に適用される場合、レコード、テンプレート、およびルールは、共通名「エンティティ」で参照されます。

メタデータエディターの編集エリアでは、エンティティの表示や目録化を行うことができます。このエリアは、メタデータエディタを開くを選択する場合（リソース > 目録化 > メタデータエディタを開く）、またはリポジトリ検索結果など、別の機能からのレコードを開くか編集することを選択する場合に開きます。



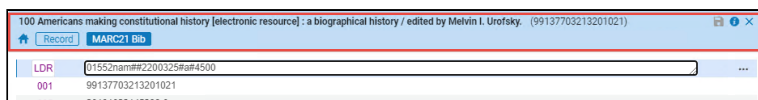
編集領域

編集エリアでは、書誌レコード、所蔵レコード、典拠レコード、レコードテンプレートなど、さまざまなレコードを目録化することができます。レコードの各行には、次のものが含まれています。

- フィールドタグ
- インジケータ
- サブフィールド
- アイコン（フィールド番号の左側）
- 行アクション：
 - フォームエディタを開きます（[フォームエディタを開く](#)を参照）
 - フィールド情報（詳細については、[フィールド情報](#)を参照）

エリアヘッダーの編集

編集領域には、エンティティ情報を含むヘッダーが含まれています：






この領域の色分けは、この領域がどのように開かれたかによって変わります。詳細については、[色分けとカウンター](#)を参照してください。

編集領域の上部に表示される情報は、開く/編集するために選択したエンティティのタイプによって異なります。

レコード	テンプレート	ルール
<ul style="list-style-type: none"> • タイトル、典拠、MMSID • 範囲 - 機関、ネットワーク、またはコミュニティゾーン • レコードのタイプ（MARC21、 	<ul style="list-style-type: none"> • タイトル • 範囲 - 機関、ネットワーク、またはコミュニティゾーン • レコードのタイプ（MARC21、 	<ul style="list-style-type: none"> • ルール名 • 範囲 - 機関、ネットワーク、またはコミュニティゾーン • ルールのクラス(統合、正規化、指示な

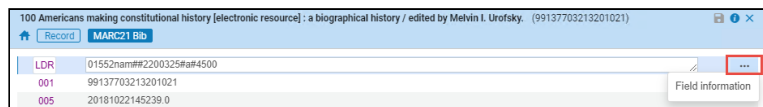
レコード	テンプレート	ルール
UNIMARC、所蔵等) <ul style="list-style-type: none"> 目録作成レベル(表示を選択した場合)(権限の目録化を参照) プッシュされている (プッシュされたレコードを参照) 新規 - 新しいレコード用 表示のみ - 編集権限がない場合 	UNIMARC、所蔵等) <ul style="list-style-type: none"> 新規 - 新しいレコード用 表示のみ - 編集権限がない場合 	ど) <ul style="list-style-type: none"> ルールのタイプ(DroolまたはXML)

情報セクションには、次のアイコンも含まれています：

-  レコードの保存
-  レコードの作成/修正情報の閲覧 (いつ、誰が行ったか)
-  Xメタデータエディターを閉じる/終了
 なお、MDEを閉じると、エンティティへの変更が自動的に保存され、MDEでの作業が可能になります。レコードの場合、これはレコードリストにレコードを最小化します (ドラフトコピーへの変更を保存します) が、レコードを公開するわけではありません。

フィールド情報を見る

編集中のフィールドのポキャプリア説明を表示するには、行の最後にある省略記号ボタンを選択して行アクションメニューを表示し、フィールド情報を選択します。



Note

フィールド情報はヘルプURLフィールドによって制御されます。詳細については、「[フィールドの編集](#)」を参照してください。

開いたタブには、MDレジストリの定義に基づいたフィールドセンシティブなデータが含まれています。情報タブで提供される情報のソースについては、以下の表を参照してください。表内の言語は、ユーザーの優先言語を指すことに注意してください。

フィールド情報を見る

レジストリ	情報タブのリンク
書誌レコード	

レジストリ	情報タブのリンク
MARC 21	<ul style="list-style-type: none"> 英語（デフォルト）：https://www.loc.gov/marc/bibliographic/bd{field}.html ドイツ語：https://www.alma-dach.org/alma-marc/bibliographic/{field}
KORMARC	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語（デフォルト）：http://www.nl.go.kr/common/jsp/kormarc_2014/sub/{group1}_{field}.html
UNIMARC	<ul style="list-style-type: none"> イタリア語（デフォルト）：http://unimarc-it.wikidot.com/{field} フランス語：http://documentation.abes.fr/sudoc/formats/unmb/zones/{field}.htm
CNMARC	<ul style="list-style-type: none"> 中国語（デフォルト）：http://www.exlibris.com.cn:8991/cnmarc_ヘルプ/{field}_xx_chi.html 英語：http://www.exlibris.com.cn:8991/cnmarc_help/{field}_xx_eng.html
所蔵	
MARC 21	<ul style="list-style-type: none"> 英語（デフォルト）：https://www.loc.gov/marc/holdings/hd{field}.html ドイツ語：https://www.alma-dach.org/alma-marc/holdings/{field} フランス語：http://www.marc21.ca/M21/FND/F{field}.pdf
典拠レコード：	
MARC 21	<ul style="list-style-type: none"> 英語（デフォルト）：https://www.loc.gov/marc/authority ドイツ語：https://www.alma-dach.org/alma-marc/authority/{field}
UNIMARC	<ul style="list-style-type: none"> イタリア語（デフォルト）：https://www.ifla.org/files/assets/uc/https://www.ifla.org/files/assets/uc...ies-format.pdf フランス語：http://documentation.abes.fr/sudoc/formats/unma/zones/{field}.htm
CNMARC	<ul style="list-style-type: none"> 中国語（デフォルト）：https://www.loc.gov/marc/Authority/ad{field}.html 英語：https://www.loc.gov/marc/authority/ad{field}.html
GND	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語（デフォルト）：https://www.alma-dach.org/alma-marc/authority/{field}/{field} 英語：https://www.loc.gov/marc/authority/ad{field}.html

フォームエディタを開く

詳細な入力を含む特定のフィールドの場合、フォームエディターを使用することを選択すると、コンテンツの入力と編集がはるかに簡単になります。

LDRのフォームエディター フィールド

フォームエディタは、MARC 21、**KORMARC**、**UNIMARC**、および**CNMARC**でご利用可能です：

- LDRや001-009などのMARC 21固定フィールド、または所蔵852フィールドなどの複雑なフィールド
- LDRや001-009などのKORMARC固定フィールド、または所蔵852フィールドなどの複雑なフィールド
- 注：852フィールドサブロケーションまたはメタデータエディタフォームエディタにあるコレクション (b) および配架場所 (c) メタデータエディタにあるドロップダウンリストをカスタマイズして、ロケーションのコード、名前、またはコードと名前を一緒に表示できます。詳細については、[図書館と配架場所の表示方法のカスタマイズ](#)を参照してください。
- UNIMARC向け1XXフィールド：100、105、106、110、115、116、117、120、121、122、123、125、126、130、135、140、および141
UNIMARCの場合、制御フィールドは特定のサブフィールドに固有であり、フォームの編集はそれらのサブフィールドでのみ使用することができます。これらの場合、フォーム編集はそれらのサブフィールドに対してのみ使用できます。たとえば、UNIMARCフィールド123では、\$d、\$eおよび\$fのみが制御フィールドとなります。この場合、特定のサブフィールドにカーソルを置き、**Ctrl+F**を押して編集フォームを開きます。
- CNMARC - 1XXコード化データフィールドの一部

フォームエディターを開くには：

- 特定のサブフィールドにカーソルを置き、フォームエディターを開く（編集アクションメニュー）を選択するか、ショートカット（Ctrl+F）を使用します。
フォームエディタを閉じるには、フォームエディタを閉じる（編集集中のアクションメニュー）を選択するか、キーボードの**Esc**キーを使用します。

アラート領域

Note

メタデータエディタのナビゲーションペインは、レコード、テンプレート、およびルール領域で同じように機能します。簡潔にするために、情報がこれら3つの領域に適用される場合、レコード、テンプレート、およびルールは、共通名「エンティティ」で参照されます。

レコードを開いて編集すると、Almaは、レコードをチェックして、欠落している情報、無効な情報、重複したレコードなどのさまざまな特性がないか調べます。問題が見つかった場合は、アラートとして表示されます。アイコン



アイコンをクリックすると、検出された問題が表示されます。

問題を修正してレコードを保存すると、アラートはアラート領域から削除されます。

The screenshot shows the Alma record editor interface for a record titled "Art / Mike Evans, general editor. (99124592780001021)". The interface displays a list of MARC21 fields, including LDR, 005, 008, 020, 029, 035, 040, 049, 050, 082, 245, 246, 260, 300, 500, 650, 700, 938, 948, 950, and 994. A warning banner at the bottom of the interface states: "You have 6 warning(s) in your record - 1:24:22 PM." The banner is highlighted with a red box.

テキスト領域

キーボードキーによる編集ペインの移動

MDエディター-その他の編集オプション

アクション	説明
上矢印	レコード内のフィールドごとにカーソルを上に移動させます。
下向き矢印	レコード内のフィールドごとにカーソルを下に移動します。
右矢印	フィールド、サブフィールド、インジケータ、およびコンテンツ情報全体でカーソルを右方向に移動させることができます。
左矢印	フィールド、サブフィールド、インジケータ、およびコンテンツ情報全体でカーソルを左方向に移動させることができます。

Altキーメニューボードショートカット

カタログ作成の効率と使いやすさを向上させるために、ユーザーはキーボードのみを使用して、新しいメタデータエディターのメニューに簡単かつ迅速にアクセスできます。ショートカットにアクセスするには、Alt + 数字を使用して一番上の行のオプションに移動します。

メニューキーボードショートカット

最上行オプション	ショートカット
テンプレート	Alt+2
ルール	Alt+3
保存	Alt+4
新規	Alt+5
レコードアクション	Alt+6
アクションの編集	Alt+7
目録を追加	Alt+8
関連データを表示	Alt+9
検索と閲覧	Alt+10

メタデータエディターのメニューとツールバーオプション

次の表では、メタデータエディターのさまざまなメニューおよびツールバーオプションについて説明しています。

Note

以下の表では、メタデータエディターのキーボードショートカットのリストを確認できます。

- メタデータエディターで前後（前のページと次のページ）に移動するには、Alt + --> または <-- （右矢印または左矢印）を使用します。

- 画面左側のレコードにフォーカスするには、**Alt+Shift+B**キーを使用します。
- 検索**バーにフォーカスするには、**Ctrl+Alt+F**キーを使用します。
- Shift+F2**を押すと、Almaホームページに**戻ります**。



特定のメニューのオプション、キーボードショートカット、および**説明**へとすばやくリンクするには、メニュー名をクリックしてください。

[保存](#) / [新しい](#) / [アクションの記録](#) / [アクションの編集](#) / [在庫を追加](#) / [関連データを表示](#) / [検索と閲覧](#) / [追加](#)

メタデータ エディター - 保存メニュー ([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))

アクション	キーボードショートカット	説明
レコードを保存	(Ctrl+S)	リポジトリ内のレコードに加えられた 変更 が保存されますが、レコードは解除されません。解除オプションを使用して、レコードを解除します。
保存し、レコードを公開する	(Ctrl+Alt+R)	レコードを保存して解除します。レコードを解除すると、メタデータエディタの画面左側は使用できなくなります。
下書きを保存	下書きを保存 (Ctrl+Alt+S)	検証 ルーチンを実行し、レコードを下書きとして保存します。 変更 は保存されますが、この時点でリポジトリ内では 変更 として更新されません。レコードはチェックアウトされたままであり、他の目録者が編集することはできません。 30日間 変更 がない場合、下書きレコードは削除されます。
テンプレートとして保存する		現在のレコードを繰り返し使用するために、テンプレートとして保存します。

メタデータ エディター - 新しいメニュー ([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))


アクション	キーボードショートカット	説明
新規	(Alt+N)	選択に応じて、次のリストから空のレコードや機能を開きます (環境やインストール状況によって異なる場合があります)。 <ul style="list-style-type: none"> MARC 21 書誌 KORMARC 書誌 UNIMARC 書誌 CNMARC MODS 議会図書館の件名標目 議会図書館名の典拠レコード 米国国立医学図書館、2013年の医学の件名標目 ドイツ国立図書館名と件名標目 ドイツの分類方法 BARE MARC 21 所蔵 Dublin Core DCAP ETD 正規化ルール

アクション	キーボードショートカット	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 統合ルール 表示ルール（詳細については、表示ルールの操作 セクションを参照してください。） 簡易レベルルール（詳細については、簡易レコードレベルの操作 のセクションを参照してください。） 典拠の標目ルール
テンプレート表示設定		テンプレートの表示構成画面を開きます。ユーザーは、新規メニューで、どのテンプレートを表示するか、どのテンプレートを表示しないかを定めることができます。
配置オプション（ネットワークゾーンコンソーシアムのメンバー機関にのみ関連）		配置オプション画面を開きます。ユーザーは、新しいレコード、新しいテンプレート、新しいルールをデフォルトでメンバー機関に保存するか、ネットワークゾーンに保存するかを決定できます。

メタデータ エディタ - レコードアクションメニュー ([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))

アクション	キーボードショートカット	説明
レコードの解除	(Alt+Shift+R)	変更を保存せずにレコードを解除します。レコードを解除すると、メタデータエディタの画面左側は使用できなくなります。
元のレコードを再読み込み		<p>リポジトリに保存されているレコードの最後のバージョンで、アクティブなレコードを再読み込み（上書き）します。この操作により、実行されてきた下書きの変更を破棄します。</p> <p>SBN中央目録統合では、最新バージョンの書誌および典拠レコードをリロードできます。他のすべての中央目録統合では、最新バージョンの書誌レコードのみをリロードできます。</p> <p>中央目録からレコードをリロードアクションは、両方の基準が満たされた場合に使用できます:</p> <ul style="list-style-type: none"> [総合目録統合プロファイル] を設定した場合、 書誌レコードで作業する場合 (SBNの場合 - 典拠レコードでも作業する場合)。 <p>編集のために中央目録レコードを開くときに、中央目録から最新バージョンの書誌レコードを自動的にロードするようにAlmaを設定できます。これを有効にするには、<code>reload_record_from_central_catalog</code> 顧客パラメーターをTrueに設定します (デフォルトはFalse)。この機能は、SBN統合には存在しません。</p> <p>詳細については、SBNからの最新のレコードバージョンの取得を参照してください。</p>
重複したレコード		レコードのコピーを作成します。
新規レコードを派生させる		関連する書誌レコードとデフォルトのテンプレートに基づいて、新しい書誌レコードを作成します。さらに、773または775フィールドでサポートされる関係も含まれます。詳細については、 新しい書誌レコードの派生-MARC 21 を参照してください。

アクション	キーボードショートカット	説明
統合して結合する		2つの書誌レコードを統合し、それらの2つの書誌レコードの目録を1つの書誌レコードの下に統合します。統合プロセスの結果、目録が残っていない書誌レコードを削除、非公開もしくは所蔵するオプションを選ぶことができます。詳細については、 書誌レコードの統合 を参照してください。
検証	Ctrl+U	書誌レコードで検証ルーチンを実行します。検証で生じた問題は、アラートタブに表示されます。検証ルーチンは、[リソース]の[メタデータ設定]で設定されます。詳細については、 検証ルーチンの編集 を参照してください。
一致を検索	(Ctrl+M)	<p>MARC書誌：</p> <p>ローカルレコードを編集するときは、まずローカル目録に現在のレコードと一致するものがあるかどうかを確認してください。コミュニティゾーンにリンクされているレコードを編集する場合、コミュニティゾーンに現在のレコードと一致するものがあるかどうかを確認します。使用するべき正しい一致プロファイルを定義するには、serial_match_profile および non_serial_match_profile の適切なファイルキーを設定する必要があります (その他の構成 (リソース管理) を参照)。</p> <p>MARC典拠：</p> <p>メタデータエディタで典拠レコードを編集している際、重複している典拠標目コンテンツを含むレコードを表示します。</p>  <p>典拠レコードの標目の一致</p> <p>一致が見つかった場合、レコードを表示したり編集したりするオプションが表示されます。</p> <p>Dublin Core / DCAP / ETD / MODS:</p> <p>一致する書誌レコードを見つけます。</p>
メモを追加		レコードに個人メモを追加する。
別の目録者にレコードを割り当てる		<p>レコードを別の目録者に再度割り当てます。レコードの範囲内の所蔵を処理する特権 (冊子目録管理特権) を持つ目録作成者にのみ割り当てることができます。所蔵記録の範囲の詳細については、プレゼンテーション「図書館レベルでの所蔵レコード管理」を参照してください。</p> <p>メタデータエディタで開いているレコードのリストにレコードが太字で表示され、[関連データの表示] > [メモの表示] の下にメモが追加されます。新しい目録者にメールで送信するには、[Eメールとして送信] チェックボックスをオンにします。割り当て先レターが送信されます。詳細については、Almaレターの構成を参照してください。</p>
割り当てを解除する		自分に割り当てられている書誌レコードのロックを解除して、他の誰かが作業できるようにします。

アクション	キーボードショートカット	説明
別の目録作成者の解除レコード		<p>特定のユーザーに割り当てられているすべての書誌および所蔵レコードを解除します。以前の機能と同様に、解除されたレコードは割り当て解除状態になり、他のすべての目録者が処理できるようになります。</p> <p>レコードの編集中は、編集を実行しているユーザーが使用中のため、レコードはロックされます。ロックされたレコードの詳細については、作業中のロックされたレコードを参照してください。</p>
検出から非公開にする	(Alt+Shift+S)	<p>レコードにタグを付けて、エンドユーザー検出システム（Primo、GoogleScholar、CDI、Z39.50、またはLibrariesAustraliaの所蔵のみ）の公開設定から除外/含めず。レコードが非公開にされている場合、非公開アイコンは</p>  <p>がメタデータエディタの左側のペインとリポジトリ検索結果のレコードの横に表示されます。</p> <p>コレクションレコードも非公開にすることができます。ただし、コレクション内のレコードは引き続き検出可能です。</p> <p>サーバー統合プロファイルの設定に関する詳細情報については、Z39.50検索を参照してください。</p>
外部検索からの抑制		<p>外部検索からの抑制タグを使用してレコードの検索を抑制するように設定されているSRUまたはZ39.50統合プロファイルを使用して、外部システムによるレコードの検索を除外します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>Z39.50外部検索は、この設定とレコードの「検出からの抑制」管理タグの両方によって影響を受けます。SRU外部検索では、「外部検索からの抑制」のみを考慮に入れてください。</p> <hr/> <p>サーバー統合プロファイルの設定に関する詳細情報については、Z39.50検索を参照してください。</p> <p>SRU/SRWサーバー統合プロファイルの設定に関する詳細情報については、SRU/SRW検索を参照してください。</p>
管理タグの設定		<p>WorldCatにエクスポートする</p> <p>OCLC同期に設定/解除するレコードにタグを付けます。</p> <p>次のオプションのいずれかを選択して、以下のレコードの処理方法を指定します: [公開しない]、[所蔵のみを公開]、[書誌レコードを公開]。</p> <p>[書誌レコードの公開] オプションは、次のワークフローでデフォルト設定になっています:</p> <ul style="list-style-type: none"> メタデータエディタで新規書誌レコードを作成 外部リソース検索でコピーカタログを作成（ [リソース > カタログ > 外部リソースを検索する] ） コミュニティゾーンから書誌レコードをオーダーする コミュニティゾーンから書誌レコードをコピー/リンクする <p>OCLC Connexionの場合、値はOCLC Connexion統合プロファイルに従って決定されます。詳細については、OCLC Connexionからのレコードのインポートを参照してください。</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
-------	--------------	----

The screenshot shows the 'Integration Profile' configuration interface. It includes sections for 'FORMAT', 'NORMALIZATION', 'VALIDATION', and 'MERGE'. The 'MANAGEMENT TAGS' section at the bottom is highlighted with a red border, showing a dropdown menu for 'Synchronize with External Catalog?' currently set to 'Publish Bibliographic records'.

OCLCにエクスポートされ、このエクスポートパラメーターを別の値に変更することによって非公開にされたレコードは、削除済みとして公開されます。

WorldCatへの強制エクスポート:

OCLCへの次のエクスポートで、書誌レコードにリンクされた**所蔵**レコードを含みます。

オーストラリア図書館へのエクスポート:

Libraries Australiaとの同期を設定/解除するレコードをタグ付けます。

ラジオボタンを選択して、公開しないまたは書誌を公開するのいずれでレコードを処理するかを指定します。

書誌レコード管理タグがオーストラリア図書館へエクスポートについて書誌を公開するに設定されている場合、**所蔵**レベルの非表示は、レコードがオーストラリア図書館に公開されているかどうかを決定する要因となります。

- 書誌レコードが非表示になっているが、**所蔵**が非表示になっていない場合、レコードはオーストラリア図書館に公開されています。
- 書誌レコードが非表示ではなく、**所蔵**が非表示になっている場合、レコードはオーストラリア図書館に公開されていません。

Libraries Australiaへの強制エクスポート:

Libraries Australiaへの次のエクスポートで、書誌レコードにリンクされた**所蔵**レコードを含みます。

目録から削除	
--------	--

Note


このオプションは、コミュニティゾーン連動書誌レコードがある場合にのみ表示されます！

このオプションは、カタログ作成機能拡張ロールを持っている場合にのみ表示されます。

アクション	キーボードショートカット	説明
		コミュニティゾーンから作成され、コミュニティゾーンにリンクされている書誌レコードは、教育機関によって削除される場合があります。
レコードを削除する	(Ctrl+D)	<p>このオプションは、拡大目録者の役職を持つユーザーに対して有効になります。コミュニティゾーンにリンクされている書誌レコードで作業している場合、このオプションはグレー表示されることに注意してください。</p> <p>レコードの削除 (Ctrl+D) 機能は、次のものを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 書誌レコード (単独) • 1つ以上の所蔵レコードを含む書誌レコード • 書誌レコード、所蔵レコード、および1つ以上のそれらのアイテム (アイテムのステータスが [貸出] でない場合に限る) • 注文明細の書誌レコード (注文明細が添付されている書誌レコードを削除すると、注文明細も削除されることを示すメッセージが表示されます) <p>書誌レコードの一括削除の詳細については、書誌レコードのセットを削除を参照してください。</p>

メタデータ エディター - エディターアクションメニュー ([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))

アクション	キーボードショートカット	説明																								
フィールドを追加	(F8)	<p>目録化する際にフィールド値を設定できる新しい空の行を追加します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>追加されるフィールドや行がLDR、005、008などのコントロールフィールドである場合、ファーストとセカンドインジケータのスペースは表示されません。一部のフィールドではゼロを入力することで、ファーストインジケータとセカンドインジケータを3桁で表示する必要があるフィールドが存在します。以下の図を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table border="1"> <tr> <td>LDR</td> <td>#####nbc#a22#####</td> </tr> <tr> <td>005</td> <td></td> </tr> <tr> <td>008</td> <td>#####19331982xx#</td> </tr> <tr> <td>035</td> <td>‡a (OCoLC)</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table border="1"> <tr> <td>LDR</td> <td>#####nbc#a22#####a</td> </tr> <tr> <td>94</td> <td></td> </tr> <tr> <td>008</td> <td>#####19331982xx###</td> </tr> <tr> <td>035</td> <td>‡a (OCoLC)</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table border="1"> <tr> <td>LDR</td> <td>#####nbc#a22#####</td> </tr> <tr> <td>008</td> <td>#####19331982xx#</td> </tr> <tr> <td>035</td> <td>‡a (OCoLC)</td> </tr> <tr> <td>094</td> <td></td> </tr> </table> </div>	LDR	#####nbc#a22#####	005		008	#####19331982xx#	035	‡a (OCoLC)	LDR	#####nbc#a22#####a	94		008	#####19331982xx###	035	‡a (OCoLC)	LDR	#####nbc#a22#####	008	#####19331982xx#	035	‡a (OCoLC)	094	
LDR	#####nbc#a22#####																									
005																										
008	#####19331982xx#																									
035	‡a (OCoLC)																									
LDR	#####nbc#a22#####a																									
94																										
008	#####19331982xx###																									
035	‡a (OCoLC)																									
LDR	#####nbc#a22#####																									
008	#####19331982xx#																									
035	‡a (OCoLC)																									
094																										
サブフィ	(F9)	アクティブなフィールドでのインライン目録を許可するために、定義された区切り記号 (たとえば、\$\$や‡)																								

アクション	キーボードショートカット	説明
フィールドを追加		を使用して新しいサブフィールドを追加します。
フィールドを削除	(Ctrl+F6)	<p>このオプションを使用して、1つ以上のフィールド（行）を削除します。</p> <p>削除する行を選択してフォーカス行にするか、Ctrlキーを押しながらクリックして複数の行を選択し、[フィールドの削除] または Ctrl+F6 を選択します。</p> <p>詳細については、MDエディタで複数のフィールドを削除の動画（1分）を参照してください。</p>
フォームエディタを開く	(Ctrl+F)	<p>この機能は以下で説明するように、MARC 21、KORMARC、UNIMARC、およびCNMARCにて機能します。</p> <ul style="list-style-type: none"> LDRや001-009などのMARC 21固定フィールド、または所蔵852フィールドなどの複雑なフィールド LDRや001-009などのKORMARC固定フィールド、または所蔵852フィールドなどの複雑なフィールド UNIMARC 1XXフィールド：100、105、106、110、115、116、117、120、121、122、123、125、126、130、135、140、および141 <p>UNIMARCの場合、制御フィールドは特定のサブフィールドに固有であり、フォームの編集はそれらのサブフィールドでのみ使用することができます。たとえば、UNIMARCフィールド123では、\$d、\$eおよび\$fのみが制御フィールドとなります。この場合、特定のサブフィールドにカーソルを置き、Ctrl+fを押して編集フォームを開きます。123 \$dについては、以下のUNIMARCの例を参照してください。</p>  <p>123 \$dのUNIMARC MDエディタフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> CNMARC - 1XXコード化データフィールドの一部 <p>たとえば、193フィールドの場合</p>  <p>193 \$aのCNMARC MDエディタフォーム</p> <p>これらのフィールドの1つがMDエディタのアクティブ行である場合、Ctrl+fを押して編集フォームを開き、Escを押してフォームを閉じます。</p> <p>MDエディタフォームエディタの852フィールド [サブローションまたはコレクション (b)] および [配架場所 (c)] ドロップダウンリストをカスタマイズして、ローションのコード、名前、またはコード+名前を表示することができます。詳細については、図書館と配架場所の表示方法のカスタマイズを参照してください。</p>
権限見出しを開く	F3	<p>このメニューオプションはのみユーザーが F3 機能 (ルックアップ機能) をサポートするフィールドにいるときに表示されます。</p> <p>この機能を使用すると、特定の書誌見出しから典拠見出しを検索できます (F3 検索機能と同じ)。あるいは、ユーザーは F3 を選択してこの機能にアクセスすることもできます。</p> <p>詳細については、典拠レコードを書誌レコードにリンクするを参照してください。</p>
フォーム	(Esc)	コントロールフィールドエディタを終了し、標準エディタビューに戻ります。

アクション	キーボードショートカット	説明
エディタを閉じる		
フィールド情報	(Alt+F)	編集しているフィールドの語彙解説が表示されます。詳細については、 フィールド情報の表示 を参照してください。
カットフィールド	(Ctrl+Shift+X)	選択したテキストを切り取ります。
フィールドをコピー	(Ctrl+Shift+C)	選択したテキストをコピーします。複数のフィールドを同時にコピーするには、Ctrlキーを押しながら、コピーするすべてのフィールドを選択します。
フィールドを貼り付け	(Ctrl+Shift+V)	先程カットまたはコピーしたテキストを貼り付けます。カーソルで指定した位置にフィールドが貼り付けられます。複数のフィールドを同時に貼り付けると、フィールドは数値のソート順に貼り付けられます。
レコードの強化	(Ctrl+Alt+E) / (Ctrl+Alt+W)	<p>事前設定された正規化手順を実行します。正規化はメタデータレコードの修正または更新を目的としています。たとえば、レコードのフィールドの並べ替え、空のフィールドの削除、オーダー情報を含むフィールドの削除が可能です。詳細については、「正規化ルールで作業する」を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ネットワークゾーンレコードで作業する場合、この機能は共有フィールドにのみ適用され、ローカルフィールドには適用されません。ローカルフィールドで正規化ルールを実行する場合は、ローカルフィールドにのみ適用される書誌正規化ジョブ (定義済みセットでの手動ジョブの実行を参照) のいずれかを使用してください。</p>
削除、切り取り、貼り付けフィールドを元に戻す	(Ctrl+Shift+Z)	<p>オペレーターは次のアクションで元に戻すことができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールドを削除 • カットフィールド • フィールドを貼り付け <p>選択した複数のフィールドに元に戻すアクションを適用する場合 (Ctrl+selectを使用)、アクションは各フィールドに個別に適用されます。たとえば、3つのフィールドが削除された場合、Ctrl+Shift+Zを使用すると、最初のフィールド、2番目のフィールドなど、各フィールドが連続して復元されます。</p>
8月の新機能！ Unicode文字を挿入する	(Ctrl+Alt+P)	<p>図書館スタッフが仮想キーボードを使用して、特殊文字セットをMDエディタに直接入力します。</p> <p>仮想キーボードはショートカットまたはメタデータエディタの [編集アクション] > [Unicode文字の挿入] アクション からアクセスできます。</p> 

アクション	キーボードショートカット	説明												
		仮想キーボード												
テンプレートから拡張	(Ctrl+E)	<p>指定されたテンプレートを使用して、レコードのデータフィールドを展開します。レコードのタイプは、書誌、所蔵および典拠のいずれかです。</p> <p>MDエディタで複数のパネルが開いている場合、テンプレートから展開機能がフォーカスされているパネルに適用されます。</p> <p>詳細については、テンプレートからのレコードの展開 およびレコードテンプレートの操作を参照してください。</p>												
著者番号を生成する	(F4)	<p>著者番号を生成</p> <p>著者番号は、次のものに対して生成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 090ローカル請求番号フィールド <p>詳細については、KORMARC書誌レコードにおける090ローカル請求番号フィールドのための著者番号の自動生成を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 著者一覧（Cutter Sanborn Three-Figure Author Table）を使用したMARC 21書誌レコードの905ローカル請求番号フィールド <p>詳細については、著者番号の自動生成を参照してください。</p>												
代替グラフィック表記を追加	(Alt+F1)	<p>このパラメータがFalseに設定されている場合、このオプションを使用すると、880リンケージを複雑にすることなく、ペアのフィールドを編集できます。たとえば、245フィールドが選択されている場合、このオプションを使用すると、入力に関連するスクリプトを選択することができます。指定されたスクリプトに入力するための追加の行がエディタで開かれます。</p> <p style="text-align: center;">代替グラフィック表記</p> <table border="1" data-bbox="435 1268 1507 1913"> <thead> <tr> <th data-bbox="435 1268 516 1388">アクション</th> <th data-bbox="516 1268 659 1388">ショートカット</th> <th data-bbox="659 1268 1507 1388">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 1388 516 1451">追加</td> <td data-bbox="516 1388 659 1451">(Alt+F1)</td> <td data-bbox="659 1388 1507 1913" rowspan="4"> <p>alternate_graphic_representation_editingパラメータをtrueに設定すると、MDエディタの〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記の追加〕オプションが〔代替グラフィック表記〕オプションに置き換わります。詳細については、alternate_graphic_representation_editingを参照してください。</p> <p>880のリンクされたフィールドの操作、および〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記〕オプションの使用については、〔書誌レコードのリンクされた880フィールドの操作〕を参照してください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1451 516 1535">リンク</td> <td data-bbox="516 1451 659 1535">(Alt+F2)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1535 516 1745">フィールドのリンクを解除</td> <td data-bbox="516 1535 659 1745">(Alt+F3)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1745 516 1913">フィールドを反転する</td> <td data-bbox="516 1745 659 1913">(Alt+F5)</td> </tr> </tbody> </table>	アクション	ショートカット	説明	追加	(Alt+F1)	<p>alternate_graphic_representation_editingパラメータをtrueに設定すると、MDエディタの〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記の追加〕オプションが〔代替グラフィック表記〕オプションに置き換わります。詳細については、alternate_graphic_representation_editingを参照してください。</p> <p>880のリンクされたフィールドの操作、および〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記〕オプションの使用については、〔書誌レコードのリンクされた880フィールドの操作〕を参照してください。</p>	リンク	(Alt+F2)	フィールドのリンクを解除	(Alt+F3)	フィールドを反転する	(Alt+F5)
アクション	ショートカット	説明												
追加	(Alt+F1)	<p>alternate_graphic_representation_editingパラメータをtrueに設定すると、MDエディタの〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記の追加〕オプションが〔代替グラフィック表記〕オプションに置き換わります。詳細については、alternate_graphic_representation_editingを参照してください。</p> <p>880のリンクされたフィールドの操作、および〔編集〕メニューの〔代替グラフィック表記〕オプションの使用については、〔書誌レコードのリンクされた880フィールドの操作〕を参照してください。</p>												
リンク	(Alt+F2)													
フィールドのリンクを解除	(Alt+F3)													
フィールドを反転する	(Alt+F5)													

アクション	キーボードショートカット	説明																								
		<table border="1" data-bbox="435 241 1505 533"> <thead> <tr> <th data-bbox="435 241 518 359">アクション</th> <th data-bbox="518 241 659 359">ショートカット</th> <th data-bbox="659 241 1505 359">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 359 518 533">スク립トを変更する</td> <td data-bbox="518 359 659 533">(Alt+F6)</td> <td data-bbox="659 359 1505 533"></td> </tr> </tbody> </table>	アクション	ショートカット	説明	スク립トを変更する	(Alt+F6)																			
アクション	ショートカット	説明																								
スク립トを変更する	(Alt+F6)																									
方向制御特性文字の表示		<p>目録化する際に、方向制御特性文字を表示するには、このオプションを選択します。これらの文字は、左から右へと書く言語と右から左へと書く言語の両方を持つテキストを目録化する際に、テキストの方向を制御するために使用されます。右から左へ入力するブライ語のタイトルに、左から右に入力するラテンC++と、テキストの一部として「および▼方向記号が付く場合の入力例については、以下を参照してください。</p>  <p>方向制御特性文字</p> <p>このメニューオプションを選択すると、テキストの方向の変化を表す記号がテキストに表示されます。文字の方向制御特性を表わすグラフィック表記については、以下の表を参照してください。〔方向特性文字の表示〕を選択したときに表示されるグラフィック表記の後に、方向を制御する非表示のUNICODE文字が続きます。</p> <p>方向特性文字をコピー/貼り付けまたは切り取り/貼り付けする場合は、方向特性文字を正常に貼り付けるために、非表示のUNICODE方向特性文字とその前に追加されるグラフィカル表記の両方をコピー/切り取りする必要があることに注意してください。</p> <p style="text-align: center;">方向制御特性文字</p> <table border="1" data-bbox="435 1102 1505 1640"> <thead> <tr> <th data-bbox="435 1102 612 1192">方向</th> <th data-bbox="612 1102 1154 1192">説明</th> <th data-bbox="1154 1102 1299 1192">グラフィック表記</th> <th data-bbox="1299 1102 1505 1192">キーボードショートカット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 1192 612 1283">左から右へマーク</td> <td data-bbox="612 1192 1154 1283">テキストを左から右に入力します。</td> <td data-bbox="1154 1192 1299 1283">→</td> <td data-bbox="1299 1192 1505 1283">Ctrl+Alt+G</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1283 612 1373">右から左へマーク</td> <td data-bbox="612 1283 1154 1373">テキストを右から左に入力します。</td> <td data-bbox="1154 1283 1299 1373">←</td> <td data-bbox="1299 1283 1505 1373">Ctrl+Alt+M</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1373 612 1463">左から右への埋め込み</td> <td data-bbox="612 1373 1154 1463">右から左に入力されるテキスト内に、左から右のテキストを埋め込みます。</td> <td data-bbox="1154 1373 1299 1463">⌈</td> <td data-bbox="1299 1373 1505 1463">Ctrl+Alt+D</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1463 612 1554">右から左への埋め込み</td> <td data-bbox="612 1463 1154 1554">左から右に入力されるテキスト内に、右から左のテキストを埋め込みます。</td> <td data-bbox="1154 1463 1299 1554">⌋</td> <td data-bbox="1299 1463 1505 1554">Ctrl+Alt+N</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1554 612 1640">ポップ方向の書式設定</td> <td data-bbox="612 1554 1154 1640">このオプションを選択すると、以前の入力方向に戻ります。</td> <td data-bbox="1154 1554 1299 1640">▼</td> <td data-bbox="1299 1554 1505 1640">Ctrl+Alt+P</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔方向特性文字の表示〕を選択してシンボルを表示すると、このオプションの左側にチェックマークが表示されます。</p>  <p>選択された方向特性文字を表示</p> <p>このオプションをもう一度選択すると、オフになります。これを行うとこのオプションの左側のチェックマー</p>	方向	説明	グラフィック表記	キーボードショートカット	左から右へマーク	テキストを左から右に入力します。	→	Ctrl+Alt+G	右から左へマーク	テキストを右から左に入力します。	←	Ctrl+Alt+M	左から右への埋め込み	右から左に入力されるテキスト内に、左から右のテキストを埋め込みます。	⌈	Ctrl+Alt+D	右から左への埋め込み	左から右に入力されるテキスト内に、右から左のテキストを埋め込みます。	⌋	Ctrl+Alt+N	ポップ方向の書式設定	このオプションを選択すると、以前の入力方向に戻ります。	▼	Ctrl+Alt+P
方向	説明	グラフィック表記	キーボードショートカット																							
左から右へマーク	テキストを左から右に入力します。	→	Ctrl+Alt+G																							
右から左へマーク	テキストを右から左に入力します。	←	Ctrl+Alt+M																							
左から右への埋め込み	右から左に入力されるテキスト内に、左から右のテキストを埋め込みます。	⌈	Ctrl+Alt+D																							
右から左への埋め込み	左から右に入力されるテキスト内に、右から左のテキストを埋め込みます。	⌋	Ctrl+Alt+N																							
ポップ方向の書式設定	このオプションを選択すると、以前の入力方向に戻ります。	▼	Ctrl+Alt+P																							

アクション	キーボードショートカット	説明
		<p>クが表示されなくなります。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ヘブライ語での目録の詳細については、ヘブライ語での目録における特別な問題を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>新しいメタデータエディタが使用されていない場合、スラッシュキー「/」はフォーカスを永続検索バーに移動させません。この機能は現在、ユーザーが新しいメタデータエディタを使用する場合はサポートされていません。</p>
方向制御 特性文字 を挿入		<p>目録化するフィールド/サブフィールドのテキストを入力する方向を識別するには、このメニューアイテムから方向オプションのいずれかを選択します。もしくはこのメニューリストに表示されるキーボードショートカットを使用することができます。詳細については、上の表を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>メニューからこれらのオプションのいずれかを選択した際に、[方向特性文字の表示]を選択すると、入力を開始するまで方向記号が表示されないという問題があります。ただし、キーボードショートカットを使用して方向を変更すると、すぐに方向記号が表示されます。</p>
XML表示	Ctrl+Alt+X	レコードをXMLファイルとして表示します。

メタデータエディター - 目録メニューの追加([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))

アクション	キーボードショートカット	説明
(MARC21) 所蔵の追加	(Ctrl+Alt+H)	現在の書誌レコードにリンクされている所蔵レコードを追加します。
アイテム を追加	(Alt+I)	<p>所蔵レコードにアイテムレコードを追加します。</p> <p>このオプションを選択すると、[冊子エディタ] ページが開きます。詳細については、「アイテムレベルの情報更新」を参照してください。</p>
テンプレートから アイテム を追加する	(Alt+L)	<p>テンプレート（既存のアイテムの詳細を組み込んだもの）を使用して、所蔵レコードにアイテムレコードを追加します。メモ、アイテムポリシー、マテリアルタイプ、一時的な場所などのフィールドを事前に入力します。テンプレートには、バーコード、在庫番号、パターン情報、プロセスタイプ、At（リクエスト部門）、アイテムの呼び出し番号のプレフィックス/サフィックス、および一時的な呼び出し番号のプレフィックスを除くすべてのアイテムの詳細が含まれます。</p> <p>このオプションを選択すると、アイテムテンプレートを使用するポップアップウィンドウが表示され、ユーザーは追加するアイテムの基になるテンプレートを選択できるようになります。</p> <p>アイテムテンプレート ビデオ（3分23秒）を視聴してください。</p>


アクション	キーボードショートカット	説明
		 <p>アイテムテンプレートの使用ポップアップウィンドウ</p>
ポートフォリオを追加	(Alt+O)	ポートフォリオを追加 [既存タイトルを使用] のラジオボタンを選択し、[新規ポートフォリオ] ページを開き、[タイトルの選択] フィールドの赤いアスタリスクが付いた必須フィールドを入力してください。詳細については、 ローカルポートフォリオの管理 セクションを参照してください。
[表記を追加]	(Alt+R)	表記を追加表記を書誌レコードに追加するために、[表記の詳細] ページを開きます (MARCレコードのみ)。詳細については、 表記の追加 を参照してください。

メタデータ エディター - 関連データの表示メニュー ([メニューとツールバーのオプションに戻る](#))

アクション	キーボードショートカット	説明
検索画面で表示する	(Ctrl+Alt+V)	<p>リポジトリ検索ページで、レコードを結果リスト形式で表示します。</p> <p>詳細については、現在存在するレコードを検索するためのMetaDataエディターホットキー (Ctrl+Alt+V) の動画 (57秒) を参照してください。</p>
目録の表示	(Ctrl+I)	<p>書誌レコードにリンクされている次の目録を確認し、結果を分割エディターモードで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所蔵 ポートフォリオ <hr/> <p>Note</p> <p>メタデータエディターを使用して、書誌レコードに紐づく目録を直接確認、編集、削除することができます。</p> <p>ポートフォリオの削除は、「電子目録オペレーター拡張」の役割を付与されたユーザーにのみ許可されています。</p> <p>レコードの削除に関するネットワーク固有の設定の詳細については、こちら をクリックしてください。</p> 

アクション	キーボードショートカット	説明
		<hr/> <p>目録セクション - ポートフォリオを削除します。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 表記 (デジタル) <ul style="list-style-type: none"> 次のアクションが利用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 〔表記の追加〕 - タイトルに表記を追加します。詳細については、表記の追加を参照してください。 〔編集〕 - デジタル表記リソースエディターで表記を編集します。詳細については、代表のメタデータとコンテンツの編集を参照してください。 〔表示〕 - デジタル表記リソースエディターで表記を表示します 配信 - デジタルビューアで表記ファイルを表示します。詳細については、デジタルビューアを参照してください。 電子データベース <p>書誌レコードは、冊子、デジタルまたは電子リソースにリンクすることができるため、リスト化された際にすべて表示されることがあります。</p>
リンクされたデータを表示する		<p>MDエディターで書誌レコードを操作すると、レコードのリンクされたデータ情報が利用可能になります。リンクされたライブラリデータは、オンラインリポジトリでのタイトルの検索や、タイトルに関連する典拠レコードなど、タイトルに関連する外部リソースです。</p> <p>詳細については、書誌レコードを操作しながら、リンクされたデータを使用するを参照してください。</p>
メモを表示する		<p>メモの作業コピーを表示する。</p>
オーダーを表示		<p>注文明細ページで注文明細リスト形式でレコードを表示します（オーダーがある場合に限り）。</p>
関連する		<p>〔関連レコード〕ジョブが実行されると、現在存在するレコードに対し、関連するものとして定義されたレコードがあるかどうかを確認します。関連レコードの作成と表示の詳細については、冊子目録の関連レコードの設定を参照してください。</p>

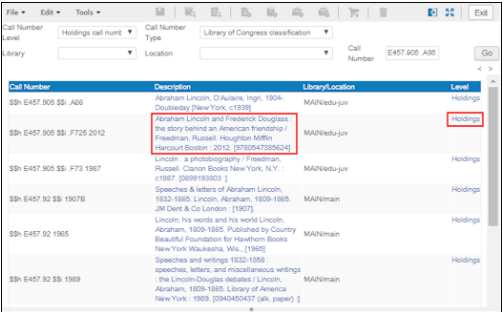
アクション	キーボードショートカット	説明
書誌レコードを表示する		
バージョン情報を表示する		<p>以前のバージョンのレコードを表示および復元します。</p>  <p>以前のバージョンの表示と復元</p> <p>ユーザー役職のレコードバージョンの復元特権が無効になっている場合、書誌、所蔵、および典拠レコードを編集してバージョンの表示（[関連データの表示] > [バージョンの表示]）オプションを選択しても、[復元]オプションは表示されません。デフォルトでは、目録者、目録マネージャー、目録管理者、および拡大目録者の役職に対して、レコードバージョンの復元特権が有効になっています。レコードバージョンの特権の復元が無効になっている場合でも、この役職では、レコードの過去のバージョンを表示することができます。詳細については、権限レポートを参照してください。所属機関で複数の役割を設定する場合は、サポートに連絡してください。</p> <p>バージョンカウンターは、レコードが初めて変更されてから開始されます。インポートまたはメタデータエディタでの手動によるレコードの作成は、バージョンとしてカウントされません。その結果、新しいレコードの[関連データの表示] > [バージョンの表示]を選択すると、システムは「改訂が見つかりませんでした」というメッセージで応答します。</p>  <p>バージョンの表示 - 新しいレコード</p> <p>レコードに初めて変更が加えられると、バージョンカウンターが開始されます。[関連データの表示] > [バージョンの表示]を選択すると、次の図に示すように、バージョンタブを含む分割画面モードでメタデータエディタが開きます。</p>  <p>バージョンの表示 - 変更されたレコード</p> <p>上の図の [バージョン：1] は、レコードに最初の変更が加えられたことを示しています。その後は変更のたびにバージョン番号が増えていきます。</p> <p>[作成者：] ラベルの後には、次が続きます：</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 前のインスタンスのレコードを作成したユーザーのユーザーID <p>上の図では、このレコードの前のインスタンスは、インポート処理によって作成され、ユーザーIDとしてインポートが表示されています。これは現在の変更を行ったユーザーのユーザーIDではありません（その場合、バージョン：1で識別されます）。その代わりに、このIDは、復元可能な前のインスタンスのレコードに付加されたIDとなります。</p> <p>バージョン：1の〔復元〕オプションを選択すると、インポートによって作成されたインスタンスのレコードが復元されます。その後の変更では、〔作成者：〕ユーザーIDが変更され、前のインスタンス/レコードの変更からのユーザーIDが反映されます。下の図に示すように、バージョン：2の〔復元〕オプションを選択すると、2016年10月21日午後17時39分35秒(日付の説明については、次の箇条書きを参照)に User、Adminによって作成されたレコードのインスタンスを復元しています。</p>  <p>バージョンの表示 - 後続の変更</p> <p>〔オペレータ〕列は、マネージャーと管理者のみに表示されます。 オペレータの詳細を表示するユーザー機能の設定を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の変更日付 (バージョン)  <p>バージョンの表示 - 変更日</p> <p>バージョンタブに表示される日付は、レコードが変更された日付です。つまり上の図に示すように、〔バージョン：1〕および〔バージョン：2〕は、バージョンの日付で識別されています。たとえば、〔バージョン：1〕の日付は、「インポート」ユーザーがレコードを作成した日付ではありません。代わりに、〔バージョン：1〕の変更日付を指します。次の図に示すように、インポートユーザーがオリジナルのレコードを作成したため、レコードの内容の上に、レコードが最初に作成された日付が表示されます。</p>  <p>作成日 - 元のレコード</p>
元のレコードのバ		<p>ネットワークゾーンに保存する前に、ローカルレコードの以前のバージョンを表示します。また、コミュニティゾーンレコードに保存されたローカル変更を表示します。 共同ネットワークでのネットワーク管理レコードを参照してください。</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
一ジョンを表示		
アイテムを表示する	(Alt+T)	<p>編集作業中に、書誌レコードや所蔵レコードに関連付けられたアイテムの一覧へ迅速にアクセスできるようにします。選択すると、書誌レコードまたは所蔵レコードのすべてのアイテムがアイテムリストに表示されます。</p>  <p>アイテムの表示オプション</p>

メタデータ エディター - 検索とブラウズメニュー [\(メニューとツールバーのオプションに戻る\)](#)

アクション	キーボードショートカット	説明
シェルフリストを参照する	(Alt+C)	<p>カーソルが請求番号フィールドを指している場合、次の追加オプションが表示され、請求番号の参照を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求番号レベルドロップダウンリストから [所蔵]、[代替請求番号]、[一時請求番号]、または [すべて] を選択します。 請求番号タイプドロップダウンリストから、閲覧する [議会図書館分類]、または [デューイ十進分類] などの請求番号タイプの1つを選択して参照します。このリストはシステムの設定方法によって異なります。 図書館 - ドロップダウンリストから [図書館] を選択して、特定の図書館を指定してブラウズ結果を制限します。 配架場所 - ドロップダウンリストから [配架場所] を選択して、特定の配架場所を指定してブラウズ結果を制限します。配架場所のオプションは、図書館を選択した後に有効になります。 請求番号 - 所蔵レコードの852 \$h \$i フィールドの参照を実行するために、請求番号の値を入力します。 <p>この機能は、[リソース > 目録 > シェルフリストを参照する] からでも有効になります。さらに詳しい情報については、シェルフリストの参照を参照してください。</p> <p>請求番号の [説明] 列のリンクを選択すると、書誌レコードがメタデータエディタで開かれ、編集できるようになります。請求番号の [レベル] 列で [所蔵] リンクを選択すると、所蔵レコードがメタデータエディタで開かれ、編集できるようになります。</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
		 <p>シエルフリスト請求番号の参照結果リストを閲覧します。</p> <p>この参照の動作方法を設定することはできません。</p>
書誌事項の見出しをブラウズする		<p>書誌の標目をブラウズこの機能は、[リソース > 目録 > 書誌の標目をブラウズ] からアクセスすることができます。詳細については、書誌標目のブラウズを参照してください。</p>
外部リソースを検索		<p>外部書誌データベースを検索し、関連レコードを表示、選択し、リポジトリにインポートします。このオプションは通常、目録のコピーワークフロー用に選択されます。詳細については、外部リソースを検索するを参照してください。</p>

メタデータ エディター - 追加のメニュー オプション [\(メニューとツールバーのオプションに戻る\)](#)

アクション	キーボードショートカット	説明
ネットワークで共有		<p>ローカルで作成したレコードをネットワークゾーンに共有します。共同ネットワークでのネットワーク管理レコードを参照してください。</p>
レコードをセントラル目録に提供	(Ctrl+Alt+C)	<p>外部総合目録に変更を投稿します。[主要目録統合プロファイル]を設定した場合にのみ表示されます。Alephセントラル目録の統合を参照してください。</p> <p>ネットワークゾーンで作業する場合、一元管理されたレコードでメンバーの1人によって行われた更新が総合目録レコードにも自動的に保存されるようにすることができます。これにより、「レコードを総合目録に提供する」オプションを使用する必要がなくなりました。総合目録での自動保存を有効にするには、Aleph総合目録の統合プロファイルで総合目録の自動提供チェックボックスを選択します (Almaの設定 > 統合プロファイル > Alephシステム > アクションタブ)。</p>
目録にコピーする		<p>共有したい書誌レコードを機関のローカルリポジトリ (機関ゾーン) にコピーします。コピーしたレコードは、コミュニティゾーンからのリンクが解除されている状態です。</p> <p>その後の有効化操作では、コピーされた書誌レコードを機関ゾーンに再度コピーすることはできません。重複を防ぐために、Almaは元のシステムIDを識別しようとします。また、機関ゾーンの書誌レコードと一致する場合は、機関ゾーンの書誌レコードが使用されます。</p> <p>このメニューオプションは、ネットワークゾーンに保存されているレコードを編集するときに、ネットワークゾーンコンソーシアムのメンバーにも表示されます。「カタログにコピー」は、レコードをネットワークゾーンからリンク解除し、メンバー機関に保存します。</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
ネットワークゾーンで検証を実行する		ネットワークゾーンの検証ルールに従って、ローカル書誌レコードを検証します。 ローカルゾーンとネットワークゾーンの書誌レコードのコピーおよび/またはリンク を参照してください。
コレクションを表示		書誌レコードが割り当てられているコレクションを表示し、レコードのコレクションへの割り当てと割り当て解除を可能にします。詳細については、 コレクションの表示と割り当て を参照してください。
MARC書誌：		
配架場所情報をマーシ	(Alt+Shift+L)	このオプションは、SBNのための総合目録統合プロファイルが定義されている場合にのみ有効になります。詳細については、 場所情報の送信とAlmaのUNIMARC 899フィールドの更新 を参照してください。
レコードバージョンを総合目録に調整する		このオプションは、SBNのための総合目録統合プロファイルが定義されている場合にのみ有効になります。詳細については、 レコードバージョンとSBNの調整 を参照してください。
注文明細を作成して終了	(Ctrl+Alt+O)	アクティブなレコードの書誌情報に基づいて注文明細を作成します。（これには、目録オペレータの役職アクセス許可が必要です）。
MARC典拠 MARC典拠オプションは、MARC 21、UNIMARC、GNDなどの典拠レコードで使用できます。		
典拠レコードの配架場所の変更		典拠レコードを使用して下書きモードで作業しているときに、レコードの配架場所をコミュニティゾーン、ネットワークゾーン、または機関ゾーンに変更することができます。[権限の配置の変更]を選択すると、[新しい典拠レコードの配置]ダイアログボックスで提供されるオプションは、ローカル管理、またはコミュニティ管理の典拠レコードのメタデータ構成の設定方法によって異なります（ メタデータエディタにおけるグローバル権限の表示とアクセスの制御 を参照）。 典拠レコードを保存すると、[権限の配置の変更]オプションが無効になります。レコードの配架場所を変更することができなくなります。
「関連項目」を表示		典拠レコードの5XXフィールドにフォーカスして、編集中の典拠レコードとリンクされた典拠レコードの両方のレコードを表示します。テキスト一致を使用するポキャブラリの場合、一致する典拠レコードが複数存在する場合があります、その際はすべての典拠レコードがリスト化されます。
MARC 21所蔵		
書誌レコードの表示/編集	(Ctrl+Alt+B)	書誌レコードを表示します。


アクション	キーボードショートカット	説明
書誌からの更新	(Alt+U)	<p>以下のルールに従って、所蔵レコードの852フィールドに書誌レコードのフィールドを追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0インジケータの場合、hおよびiサブフィールドを、書誌レコードの090 aおよびbサブフィールドの内容にそれぞれ置き換えます。書誌レコードに090フィールドがない場合、代わりに050 aおよびbサブフィールドが使用されます。 1インジケータの場合、hおよびiサブフィールドを、書誌レコードの082 aおよびbサブフィールドの内容にそれぞれ置き換えます。 2インジケータの場合、hおよびiサブフィールドを、書誌レコードの060 aおよびbサブフィールドの内容にそれぞれ置き換えます。 3インジケータの場合、hおよびiサブフィールドを、書誌レコードの086 aおよびbサブフィールドの内容にそれぞれ追加します。hおよびiサブフィールドがすでに入力されている場合、それらの値はそのまま、置き換えられません。 8インジケータの場合、書誌レコードの084 aサブフィールド値を、連結したhサブフィールドに追加します。(hサブフィールドがすでに入力されている場合、その値はそのままです。) また、iサブフィールドを連結した084 bサブフィールド値に置き換えます。 <p>上記のルールはすぐに利用可能な設定であり、請求番号マッピングページで定義されます。詳細については、請求番号の所蔵へのマッピングを参照してください。</p> <p>「書誌レコードからアップデート」オプションを使用すると、インポート時の請求記号の正規化後に、所蔵レコード内のサブフィールドが再配置されます。</p> <p>サブフィールドは、次の順序で並べ替えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6、8、3、および英数字の任意のアルファベットのサブフィールド (a、A、1) <p>852のサブフィールドは、次の順序で並べ替えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6、8、3、およびアルファベット順の任意のアルファベットサブフィールド (a、A、1)。ただし、tはbの直後、kはhの直前でその後に2がきます。
別の書誌レコードへ再リンクする		<p>所蔵レコードを別の書誌レコードに再リンクさせます。詳細については、冊子レコード間の所蔵の移動 (再リンク)を参照してください。</p>
受入番号を生成する		<p>852フィールドの所蔵レコードの受入番号を生成します。詳細については、受入番号の設定を参照してください。</p>
次に予測されるアイテムの情報		<p>予測パターンを参照する。</p>
予測アイテムを開く		<p>予測パターンを参照する。</p>
目録の表示		<p>予測パターンを参照する。</p>
Dublin Core/ DCAP /ETD/ MODS		
目録の表示		<p>書誌レコードにリンクされている次の目録を確認し、結果を分割エディターモードで表示します。</p>

アクション	キーボードショートカット	説明
		<ul style="list-style-type: none"> 所蔵 ポートフォリオ <hr/> <p>Note</p> <p>ポートフォリオは、メタデータエディターの目録セクションから直接削除できます。[その他のアクション] ボタンを選択し、</p>  <p>)を選択し、削除を選択します。</p>  <p>目録セクション - ポートフォリオを削除します。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 表記 (デジタル) 電子データベース <p>書誌レコードは、冊子、デジタルまたは電子リソースにリンクすることができるため、リスト化された際にすべて表示されることがあります。</p>
管理タグの設定:		
簡易レベル		簡易レコードのレベルを表示します。詳細については、 書誌レコードの簡易レコードレベル設定の表示 を参照してください。





メタデータエディター その他の編集オプション

アクション	説明
上矢印	レコード内のフィールドごとにカーソルを上を移動させます。
下向き矢印	レコード内のフィールドごとにカーソルを下に移動します。
右矢印	フィールド、サブフィールド、インジケータ、およびコンテンツ情報全体でカーソルを右方向に移動させることができます。
左矢印	フィールド、サブフィールド、インジケータ、およびコンテンツ情報全体でカーソルを左方向に移動させることができます。

メタデータ エディター ツールバー

アクション	説明
所蔵を追加 	現在の書誌レコードにリンクされている所蔵レコードを追加します。
レコードを	ここではリポジトリ内のレコードに加えられた変更が保存されますが、レコードは解除されません。レコードを解除するに

アクション	説明
保存 	は、[レコードの解除] オプションを使用してください。
注文明細を作成して終了 	注文明細を作成します。[注文明細の所有者とタイプ] ページを開き（注文明細を手動で作成する際の最初のステップ）、[メタデータエディタ] ページを終了し、アクティブレコードの書誌情報に基づいて注文明細を作成します。 詳細については、 注文明細の手動作成 を参照してください。 （これには、目録オペレータの役職アクセス許可が必要です）。
アイテムを追加 	冊子を追加します。[冊子エディタ] に移動して、この所蔵レコードにアイテムを追加します。このアイコンは所蔵レコードに対してアクティブです。
目録の表示 	アイテムレコードへのリンクを含む、書誌レコードにリンクされた目録レコードのリストを開きます。目録の内容に応じて、リストには所蔵（物的リソース）、表記（デジタルリソース）、ポートフォリオ（電子リソース）が含まれる場合があります。 書誌レコードは、冊子、デジタルまたは電子リソースにリンクすることができるため、リスト化された際にすべて表示されることがあります。 <hr/> <p>Note</p> <p>ポートフォリオは、メタデータエディタの目録セクションから直接削除できます。[その他のアクション] ボタンを選択し、 ) を選択し、削除を選択します。</p>  <p>目録セクション - ポートフォリオを削除します。</p> <hr/>
書誌レコードを削除する 	リポジトリから書誌レコードを削除します。このオプションは、拡大目録者の役職を持つユーザーのみが、書誌レコードに関連付けられた注文明細または目録が存在しない場合にのみ使用することができます。書誌レコードの一括削除の詳細については、 書誌レコードのセットを削除 を参照してください。
書誌レコードの表示 	MARC 21 所蔵を操作する際に、関連する書誌レコードを表示するには、分割エディターモードを開きます。

アクション	説明
ポートフォリオを追加 (Alt+O) 	ポートフォリオを追加〔既存タイトルを使用〕のラジオボタンを選択し、〔新規ポートフォリオ〕ページを開き、〔タイトルの選択〕フィールドの赤いアスタリスクが付いた必須フィールドを入力してください。詳細については、 ローカルポートフォリオの管理 セクションを参照してください。
表記の追加 (Alt + R) 	表記を追加表記を書誌レコードに追加するために、〔表記の詳細〕ページを開きます (MARCレコードのみ)。詳細については、 表記の追加 を参照してください。
エディタ分割モード 	2つのレコードを並べて編集できるように開きます (ただし一度にアクティブになるのは片側だけです)。右側のパネルを選択し、レコードのリストからレコードを選択します。
全画面表示 	ページ全体で主要編集画面を開きます。

MDエディタでレコードを保存

MDエディタには、下書きを手動で保存する前に**変更が紛失しない**ようにする自動保存機能があります。自動保存は**変更後30秒ごと**に行われます。下書きレコードは、作業中のユーザーのみが編集でき、Webセッションの間、持続的に作用します。**30日間変更がない場合**、下書きレコードは削除されます。

リポジトリにレコードを保存すると、Almaは以前のバージョンを自動的にバックアップし、今後の参照のために保存します。開いているレコードをリポジトリで保存して解除した後でも、以前のバージョンは引き続き使用でき、リポジトリに復元することができます。以前のバージョンを復元すると、リポジトリ内の現在のバージョンが上書きされます。

レコードでの作業が終了したら、ファイルメニューからレコードを保存するか、**Ctrl+S**を押します。**変更されたレコード**はリポジトリに保存されますが、リリースが明らかになるまでチェックアウトされたままになります ([\[レコードアクション\]>\[レコードの解除\]](#))。

またはリポジトリから元のレコードをリロードすることもできます。これにより、現在の下書きがレコードの現在のバージョンに置き換えられ、行った**変更は削除**されます。レコードはチェックアウトされたままです。

レコードの編集集中に、**Ctrl+Alt+S**を押すことにより、(レコードにチェックインせずに)下書きレコードを保存することもできます。

目録許可レベルを実装した場合のレコードの保存に関する追加情報については、[目録権限](#)を参照してください。

保存時に正規化する

MDエディタでレコードを保存すると、次の正規化が処理されます。

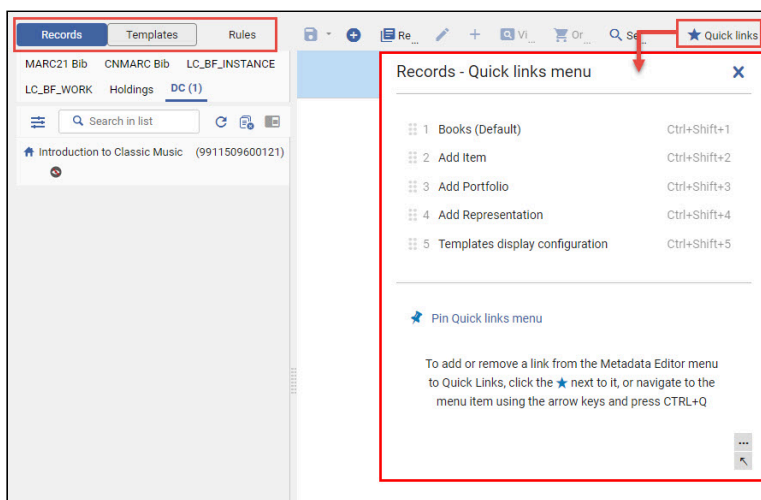
- 035フィールドは (003フィールドが存在する場合) 001および003フィールドから派生しています
- 新規レコードの場合、001値は元のシステムID (MMS ID) として保存されます

- 既存のレコードの場合、001フィールドはMMS IDで更新されます
- 008フィールドが存在する場合は更新されます
- 005フィールドが更新されます
- LDR（リーダー）フィールドの一部（主にレコードの長さ）が更新されます
- 保存時にMARC 21書誌の正規化もしくは保存時にMARC 21所蔵の正規化における保存プロセス/タスクのカスタム構成の追加情報については、例えば、機関によって処理されます（詳細については、[正規化プロセスの操作](#)を参照してください）

お気に入りのアクションへのパーソナライズされたクイックリンク

ユーザーは、メタデータ エディターで最もよく使用されるアクションへのシングルクリック ショートカットを作成できます。最初のアクションには、専用のキーボード ショートカットもあります。

メタデータエディターのクイックリンクには、レコード、テンプレート、ルールそれぞれに異なるメニューが用意されています（利用可能なアクションが異なるため）。メタデータエディターのメニューバーの右端にあるクイックリンクメニューは、画面に表示されるアクションメニューに基づいています。



メタデータ エディターのクイック リンク メニュー

各目録者は、独自のクイック リンクを追加、削除、または並べ替えることができます。

アクションのクイック リンクを作成するには:

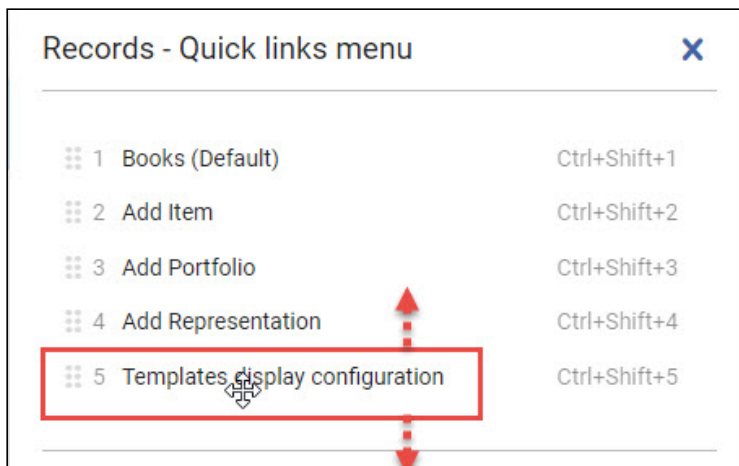
- スターを選択（



)メニューのアクションの横にあるスターまたはキーボードで移動してから新しい**Ctrl+Q**ショートカットを使用します。

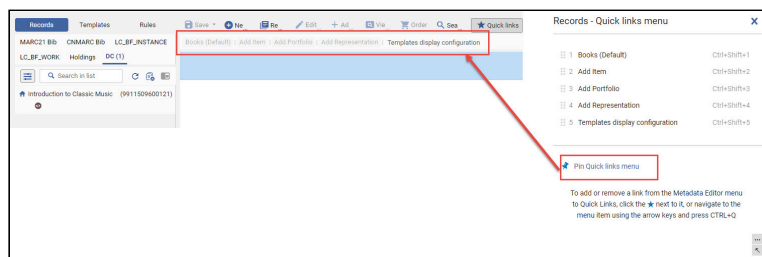
クイック リンクとそのショートカットを並び替えるには:

- クイックリンクまたはショートカットをドラッグアンドドロップするか、スペースキーと矢印キーを使用します。



クイックリンクをドラッグアンドドロップしてリストを並べ替える

選択したクイックリンクをメタデータエディタメニューの下の独自のアクション行に表示するには(常にマウスクリックで使用できます)、クイックリンクメニューをピン留めするだけです(クイックリンクが追加されると使用可能になります)。



メタデータエディタのメニューバーの下に固定されたクイックリンク

Note

レコードクイックリンクメニューには、デフォルトテンプレート(「新規」メニューに表示されている場合)からアイテム、ポートフォリオ、表記、所蔵を追加するためのクイックリンクが用意されています。これらは、必要に応じて削除または再注文できます。

MDエディタでの発音区別記号と特殊文字の入力

目録化する際に、MDエディタにて発音区別符号、特殊文字、または非ラテン文字を入力する必要がある場合があります。

MDエディタで発音記号または特殊文字を入力する方法

1. Windows の [スタート] メニューから、スタート を選びます



> [Windows アクセサリ] > [文字マップ]。

2. [フォント] ドロップダウンリストからフォントを選択します。

3. MDエディタに挿入する特殊文字を選択します。
4. 選択ボタンを選択してから、コピーを選択します。
5. MDエディタに文字を貼り付けます。

詳細については、[Almaで特殊文字を入力する方法](#)を参照してください。

UTF-8特殊文字（発音区別符号付き）は、書誌または典拠レコードの文字の合成バージョンまたは分解バージョンの両方で表すことができます。複数のレコードが合成された表現に変換されたことにより、それらが変更されるユースケースを避けるよう構成するため、特殊文字の合成バージョンを保存するように常にシステムを正規化に保存しておくオプションがあります。そのようなレコードは、優先語修正（PTC：Preferred-Term Correction）のためにマークされ、標目の更新を引き起こします（唯一の違いは特殊文字の合成または分解された性質）。このUTF-8特殊文字の処理方法について興味がある場合は、Ex Librisサポートにお問い合わせください。

MARC 21での非ファイリングマーカ/インジケータの使用

MARC 21レコードの場合、Almaはファイリング以外のマーカとインジケータに関連する次の機能をサポートしています。

- 非ファイリングマーカを示すために山かっこ<< >>を使用する目録ルールがサポートされています。
たとえば、ヘブライ語のコンテンツを含むMARC 21レコードを目録化する場合に山かっこが使用されます。
- 240および245フィールドの感度インジケータは、並べ替え機能を指定するために使用されます。

非ファイリングマーカとインジケータは、表示、並べ替え/参照、目録化にむけて、以下の表で説明する方法にて使用されます。

コンポーネント	説明
表示	山かっこ内にテキストがある場合、テキストが表示される時にかっこが削除されます。
並べ替え/参照	並べ替えまたは参照の目的で、山かっこ内のテキストは無視されます。
MDエディタ	MDエディタでは、目録レコードが入力される領域に山かっこことかっこ内のテキストが表示されます。ただし、MDエディタでタイトルなどがテキスト表示される場合、山かっこは削除されます。

UNIMARCにおける非ファイリングマーカの使用

UNIMARCレコードの場合、Almaはさまざまな地域で使用される山かっこ<< >>の目録ルールをサポートし、非ファイリングマーカを活用していきます。たとえば、UNIMARCでは山かっこを使用して、フィールドの先頭（または中央）に||や|eなどのファイリングしないテキストを指定することができます。

非ファイリングマーカで山かっこを使用する場合には、Almaが表示、並べ替え/参照、目録を処理する方法を説明する上記セクションの表を参照してください。例については、以下の図を参照してください。

Working on Gli Traducibilit? e (99207937300521) , Created by a

LDR	00320nam##2200133###450#
001	99207937300521
005	20171013092449.0
100	\$\$a 20171011d2004----km-y0itay50----ba
101 0	\$\$a ita
123	\$\$d n
200 1	\$\$a <<Gli>> Traducibilit? e processi traduttivi
210	\$\$a Perugia \$\$c Guerra \$\$d c2004
215	\$\$a 197 p. \$\$d 24 cm

MDエディタでの非ファイリングマーカークの処理（目録と表示）

1  **Gli Traducibilit? e processi traduttivi** Language: Italian
Book (Perugia : Guerra, c2004)

Physical Electronic Digital Other details

検索結果での非ファイリングマーカークの処理

KORMARCに非ファイリングマーカーク/インジケータの使用

KORMARCレコードを使用する場合、Almaリポジトリでの検索と標目の参照が拡張され、非ファイリング指針と文字を含むレコードを処理するロジックが含まれるようになります。並べ替えられた結果リストは、標目参照時に、非ファイリング文字を無視します。たとえば、a、an、theなどの冠詞は無視できます。

KORMARCでは、非ファイリング文字は、以下の表に示すように、\$aの先頭にある非ファイリングテキストをカッコで囲み、ファーストまたはセカンドインジケータ位置でインジケータ値1を囲むことで識別されます。

Working on -The Journal of produ (99207936900521) , Created by admin (2012-52:21 CDT)

LDR	00253nas#a2200097#c#4500
001	99207936900521
005	20171013125207.0
008	171013#####s2015#####ulk#####0eng##kor##
245 0	1 \$\$a (The) Journal of product innovation management
310	\$\$a Quarterly
500	\$\$a KORMARC

非ファイリング文字を含むKORMARC書誌レコード

インジケータの位置	KORMARCフィールド
1	630、740
2	130、222、240、242、243、245、440、490、730、830

ファイリング以外の文字は並べ替え目的で無視されますが、システムは完全なエントリを表示します。例：

- レコード: 245 0 1 \$\$a (The) Journal of product innovation management.
- 並べ替え: Journal of product innovation management.

- 表示: The Journal of product innovation management.

非ファイリング文字で並べ替えられたKORMARCの結果

上記と同じKORMARCレコードの例を使用して、次の検索のいずれかが指定された場合に結果は **The Journal of Product Innovation Management** が返されます。

- キーワード検索には **the** または **journal**が含まれます
- **the journal of product** または **journal of product**というフレーズを含む内容で検索
- **the journal of product** または **journal of product**で始める内容で検索

テンプレートからレコードを展開

MDエディタのレコードに [テンプレートから展開] オプションが適用されると、システムは次のプロセスを使用してレコードのデータフィールドを展開します。

Note

ネットワークゾーンテンプレートは、GNDやBAREなどのコミュニティゾーンで管理される機関をカタログ化するときに機関で使用できます。

1. テンプレートのインジケータに関係なく、システムはタグに従ってすべてのテンプレートのデータフィールドをグループ化し、出現順序を維持します。
2. 各テンプレートグループに対して、システムは以下を実行します。
 1. インジケータに関係なく、システムは、テンプレートグループのタグに一致するレコードのすべてのデータフィールドをグループ化し、出現順序を維持します。
 2. 次に示すように、テンプレートのグループの最初のデータフィールドとレコードのグループの最初のデータフィールド間で次の比較を実行します。(各グループの次のデータフィールドなどが続きます)
 - テンプレートのデータフィールドに、対応するレコードのデータフィールドにないサブフィールドが含まれている場合、サブフィールドは対応するレコードのデータフィールドに追加されます。

- レコードのグループに対応するデータフィールドがない場合、テンプレートのデータフィールド全体がレコードに追加されます。

例として、テンプレートのグループに次のデータフィールドが含まれている場合は次の通りです。

フィールド 1: 260_3 \$\$a Boston \$\$c 1971

Field 2: 260_3 \$\$a Boston \$\$c 1973

また、レコードのグループに一致するデータフィールドが1つだけ含まれている場合は次の通りです。

フィールド 1: 260 __ \$\$a New York

システムはテンプレートのグループの最初のデータフィールドのサブフィールドを、レコードのグループの最初の対応する（インジケータを無視した）データフィールドに追加します。書誌レコードには2番目に一致するデータフィールドがないため、テンプレートのグループから完全な2番目のデータフィールドをレコードに追加します。

260 __ \$\$a New York \$\$c 1971

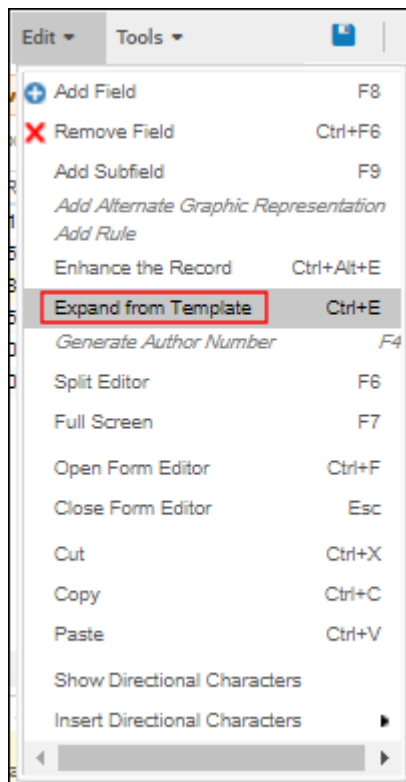
260_3 \$\$a Boston \$\$c 1973

テンプレートを使用したレコードの展開の詳細については、[テンプレートを使用したレコードの展開](#)の動画（4分24秒）をご覧ください。

詳細については、[レコードテンプレートの操作](#)を参照してください。

レコードを展開する方法

1. MDエディタで展開するレコードを開きます。
2. [編集 > テンプレートから展開] を選択して、[テンプレートから展開する] ダイアログボックスを表示します。



テンプレートオプションから展開

この例では、次のテンプレートが使用されます。

Working on template -Expand	
LDR	#####noc#a22#####a#4500
008	#####19331982od#####eng#d
245 1 1	\$\$h [videorecording]
260 1	\$\$a Boston \$\$b 1971 \$\$c 1975
260 1	\$\$a Boston \$\$c 1973

展開テンプレートの例

3. テンプレートから展開ダイアログボックスで、〔テンプレートの選択〕ドロップダウンリストからテンプレートを選択し、〔OK〕を選択してレコードを展開します。

Expand from Template

Choose Template: Expand

テンプレートダイアログボックスから展開

次の図は、新しい008および260フィールドと、展開された245および260フィールドを含む展開レコードを示しています。

Working on -Beauty of Nature (99207936400521) , Created by admin	
LDR	00196nam#a2200085#u#4500
001	99207936400521
005	20171013134715.0
008	171013s2014#####xod#####000#0#eng#d
100 1	\$\$a David \$\$b 1937
245 1 0	\$\$a Beauty of Nature

Working on -Beauty of Nature (99207936300521) , Created by admin	
LDR	00196nam#a2200085#u#4500
001	99207936300521
005	20171013140100.0
008	171013s2014#####xod#####000#0#eng#d
100 1	\$\$a David \$\$b 1937
245 1 0	\$\$a Beauty of Nature \$\$h [videorecording]
260 1	\$\$a Boston \$\$b 1971 \$\$c 1975
260 1	\$\$a Boston \$\$c 1973

展開前後のレコード例

新規書誌レコードの派生 - MARC 21

MDエディタの〔MARC 21書誌メニューの新規レコードの派生〕ツールを使用すると、関連する書誌レコードとデフォルトテンプレートを使用して、次のいずれかのタイプの関連を含む新規レコードを作成できます。

- ホストアイテム（773） - 別の書誌レコードで記述されているジャーナルの特定の記事を参照する分析レコード。

- その他エディション (775) – 同じ書誌レコードの他のエディションを説明するレコード。

上記の各フィールドには、元の関連レコードから入力される次のサブフィールドが含まれています。

- t – 元の245.a (タイトル)。
- w – 各035フィールドの035.aサブフィールドまたは元のMMS IDを含む繰り返し可能なサブフィールド。
- x – 反復性のないISSN (022.aに存在する場合)。ツールは最初の出現のみを使用します。
- z – 反復可能なISBN (020.a / 020.eに存在する場合)。
- g – 関連する部分。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。
- p – 略称タイトル。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。
- q – 最初のページのリスト。これは必須のサブフィールドですが、手動で入力する必要があります。このツールには、フィールドにプレースホルダーが含まれています。

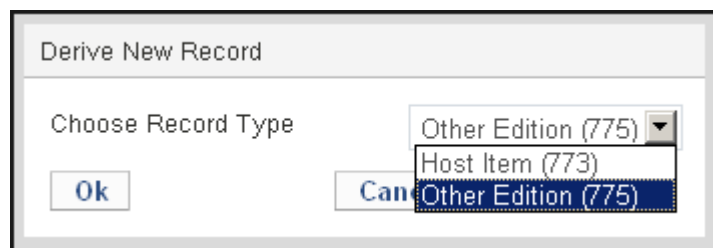
新しい所蔵レコードが保存されると、システムは空のサブフィールドを削除します。

さらに、このツールは元の関連レコードから次のフィールドを含み、デフォルトのテンプレートのフィールドに組み合わせます。

- 050、080、260 - 元の関連レコードからの最初の出現のみが含まれますが、デフォルトテンプレートからの他の出現も含まれます。
- 300.c - 元の関連レコードのacサブフィールドを有する300フィールドのすべての出現が含まれます。ツールは、元の関連レコードからcサブフィールドのみコピーすることに注意してください。

新しいレコードを派生させる方法

1. [MDエディタ] を開きます ([リソース > 目録 > メタデータエディタを開く]) 。
2. デフォルトのテンプレートを指定し、リンクしたい関連レコードを開きます。
3. [レコードアクション] > [新規レコードの派生] を選択します。
4. [レコードタイプの選択] のドロップダウンリストから [ホストアイテム] (773) または [その他のエディション] (775) を選択し、[OK] を選択します。派生させたレコードが開きます。



773または775フィールドを選択します

たとえば、次の図は、新規に派生させたレコードの入力に使用されたフィールドを示しています:

```

Working on -test_import MARC bin (993992200000121), Created by Ex Libris (18/10/2012 09:37:02 AM IST)
020   $$a 9780802716095
035   $$a (OCoLC)1810120601 $$z (OCoLC)1810120601
035   $$a (OCoLC)1810120601
040   $$a GEC $$c GEC $$d BAKER $$d OHI $$d YDXCP $$d BTCTA $$d KUT $$d AGL $$d
      WAU $$d IAC $$d NOR $$d XXH $$d SMP $$d CQU $$d STF $$d NLC $$d DAC $$d TBS
042   $$a pcc
043   $$a n—— $$a s——
050   4   $$a QL676.57.A45 $$b S88 2007
055   0 1   $$a QL698.95
055   0 0   $$a QL698.95 $$b S77 2007
070   0   $$a QL676.7 $$b .S88 2007
082   0 4   $$a 598.8 $$2 22
100   1   $$a Stutchbury, Bridget Joan, $$d 1962-
245   1 0   $$a test_import MARC binary file_1810120601 $$c Bridget Stutchbury.
250   $$a 1st U.S. ed.
260   $$a 1810120601 : $$b Walker & Co., $$c 2007.
300   $$a 255 p. : $$b ill. (some col.), maps : $$c 24 cm.
504   $$a Includes bibliographical references (p. 227-244) and index.

```

元の関連レコード

次の図は、新規派生レコードの結果を示しています。ハイライトされていないフィールドは、デフォルトのテンプレートから取得されます。

```

Working on -No Title (99122235300121)
008   #####c###9999xx##r1#####0###0eng#d
022   $$a
035   $$a (OCoLC)
041   0   $$a
042   $$a
043   $$a
050   0 0   $$a
050   4   $$a QL676.57.A45 $$b S88 2007
210   0   $$a $$b
222   0   $$a $$b
245   0 0   $$a $$b
260   $$a
260   $$a 1810120601 : $$b Walker & Co., $$c 2007.
300   $$a
300   $$c 24 cm.
310   $$a
515   $$a
650   0   $$a $$x $$z
651   0   $$a $$x $$z
775   0 #   $$t test_import MARC binary file_1810120601 $$w (OCoLC)1810120601 $$w (OCoLC)
      1810120601 $$z 0802716091 $$z 9780802716095 $$w 993992200000121 $$g $$p $$q

```

775フィールドおよびその他の派生フィールドを示す取得レコード

773または775タグの\$wサブフィールドのレコード番号の前にかっこでMARCコードを挿入すると、Almaは関連レコードリンクを作成しません。この例は、775タグの上の図にあります： ...\$\$w (OCoLC)1819120601 ... したがって、773および775タグの\$wサブフィールドでは、かっこ付きのMARCコードを使用しないことをお勧めします。

- 追加のフィールドを入力し、773または775フィールドの空の **g**、**p**、および **q** サブフィールドを更新します。
- 変更を新しいレコードに保存します。

新しい書誌レコードの派生 - UNIMARC

AlmaがMARC 21に提供するサポートと同様に、Almaは関連および派生させたUNIMARC書誌レコードのサポートを提供します。UNIMARC 4XXフィールドの関連レコード情報は、以下の例に示すように、(MARC 21形式の77Xフィールドと同様に) Almaでその方法で維持され続けます。

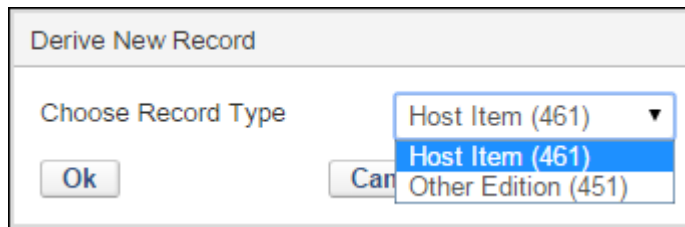
- 410 0\$1001CFI0053075\$12001 \$aSaggi\$v200
- 410 0\$1001RCA0545544\$12001 \$aScienza politica.Saggi
- 410 0\$1001UBO3505978\$12001 \$aStoria e teoria politica

AlmaはレコードID (MMS ID) に001フィールドを使用し、以前のシステムIDは035フィールドに保持されるため、Alma関連のレコードロジックはUNIMARC 4XXフィールドに含まれる、以前のシステムIDの035フィールドをチェックします。これらのレコード間のリンクは、毎日実行されるようにスケジュールされているAlma **MMS - レコード関係の構築** ジョブ ([すべてのスケジュール済みジョブの表示](#) を参照) で作成されます。MDエディタを使用したインポート、エクスポート、公開、目録のコピー、編集によるレコードの連続的な移動の間、Almaはこの形式、ロジック、処理を活用して書誌レコードを維持および管理し続けます。

MARC 21の773/775の **新規レコードの取得** 機能と同様に、AlmaはUNIMARC 461 (ホストアイテム) および451 (その他のエディション) フィールドに対して同じサポートを提供します。詳細については、 [新規書誌レコードの取得 - MARC 21](#) を参照してください。

UNIMARC新規レコードの取得オプションを表示する方法

1. [MDエディタ] を開きます ([リソース > 目録 > メタデータエディタを開く]) 。
2. デフォルトのテンプレートを指定し、リンクする関連UNIMARC書誌レコードを開きます。
3. [レコードアクション] > [新規レコードの派生] を選択します。[新規レコードの派生] ダイアログボックスが表示されます。



UNIMARCの新規レコードを派生ダイアログボックス

MDエディタ非編集モードのレコードの表示

非編集モードでMDエディタに表示されるレコードのフォーマットは、MDエディタで編集するレコードと同じ方法でフォーマットされます。この非編集モードの書式設定は、MDエディタ内の次の表示に影響します。

書誌レコード

エディタの左側から、[レコード]タブをクリックして、[MARC21 Bib] を選択します。

エディタの右側から、[関連データを表示] を選択し、次を選択します。

- コレクションを表示
- 検索画面で表示する

- 目録の表示
- リンクされたデータを表示する
- メモを表示する
- オーダーを表示
- 関連する書誌レコードを表示する
- パージョン情報を表示する
- 元のレコードのバージョンを表示
- アイテムを表示する

所蔵レコード

エディターの左側から、[レコード]タブをクリックして、[所蔵]を選択します。

エディターの右側から、[関連データを表示]>[アイテムを表示]を選択します。

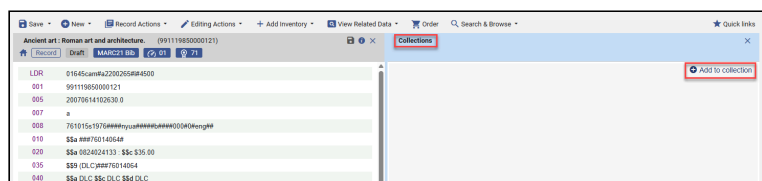
コレクションの表示と割り当て

コレクションを表示して割り当てるには、[コレクション目録オペレータ]rの役割が必要で、その範囲は機関に設定する必要があります。

レコードが割り当てられているコレクションを表示し、コレクションへのレコードの割り当てと割り当て解除を行うことができます。

レコードをコレクションに割り当てる方法

1. MDエディターでレコード（MARC、Dublin Core、DCAP、ETD、またはMODS）を編集し、[関連データの表示]>[コレクションの表示]を選択します。コレクションペインが表示されます。
2. [コレクションに追加]を選択し、デジタルレコードを割り当てるコレクションを選択します。コレクションがコレクションペインに表示されます。



コレクションの割り当てを解除するには、[削除]を選択します。

1つのコレクションのみに割り当てられているデジタルレコードに割り当て解除リンクが表示されないように、デジタルレコードは少なくとも1件のコレクションに割り当てる必要があります。

コレクションの詳細については、[コレクションの管理](#)を参照してください。

「外部プロセスが元のレコードを変更しました」コミュニティゾーンレコードを編集するときのメッセージ

メタデータエディタからコミュニティゾーンレコードを解放しようとする時、次のメッセージが表示される場合があります：「外部プロセスによって元のレコードが変更されました。元のレコードを再読み込みすることをお勧めします。」

このメッセージは、レコードがメタデータエディタで開かれている場合（つまり、ドラフトとして存在している場合）に表示され、開いている間に、別のプロセスがリポジトリ内のレコードを**変更**します。「他のプロセス」は、例えば、API、セット上で正規化プロセスを実行するジョブ、または典拠が優先する用語修正ジョブなどです。この**変更**による**変更の結果**、メタデータエディタでドラフトモードで開かれたレコードは、リポジトリに保存されたレコードとは異なります。

このメッセージは**変更**を通知し、レコードを再読み込みして最新バージョンを取得することを**推奨**します。レコードをリロードするには、**[レコードアクション] > [元のレコードを再読み込み]**を選択します。